

検体名称	T G
本体貼り付けシール内容	
<p>○上面</p> <p><b>【危険】</b></p> <p><b>感電・発火・けがのおそれあり</b></p> <p>穴やすき間に指や物をいれない。改造はしない。サービスマン以外の人は分解・修理をしない。</p> <p><b>【警告】</b></p> <p><b>感電のおそれあり</b></p> <p>アースを確実に取り付ける。</p> <p><b>破裂・やけどのおそれあり</b></p> <p>卵など、膜や殻つきのものは加熱しない。</p> <p><b>突然の沸とう（突沸）によるやけどのおそれあり</b></p> <p>飲み物、とろみのある物・油脂分の多い物を加熱しすぎないでください。加熱直後は上からのぞき込まない。加熱前によくかき混ぜる。</p> <p><b>発火のおそれあり</b></p> <p>熱に弱い物・燃えやすい物を近づけない。</p> <p><b>発火・けが・やけどのおそれあり</b></p> <p>食品を加熱しすぎない。食品以外の物を加熱しない。</p> <p><b>【注意】</b></p> <p><b>発火のおそれあり</b></p> <p>加熱室内に食品くずがついたまま調理しない。</p> <p><b>焦げ・変形・発火のおそれあり</b></p> <p>本体の上に物を置かない。</p> <p><b>電波漏れのおそれあり</b></p> <p>ドアに無理な力を加えない。</p> <p><b>けが・やけどのおそれあり</b></p>	

排気口からの湯気や熱気に注意する。容器や食品の出し入れに注意する。ドアを開いた状態でドアに力を加えない。

#### **勢いよく燃えるおそれあり**

食品が燃え出したらドアは開けない。運転を止め電源プラグを抜き鎮火するのを待つ。

#### **○側面**

(使用上の注意) 使用まえに取扱説明書をよくお読みください。水をかけないように！使用中、前面のガラスに水がかかると割れるおそれがありますので、水がかからないようにしてください。アースを取り付けてご使用ください。電源は必ずコンセントをご使用ください。他の器具と併用した分岐コンセント（延長コード）は使用しないでください。扉にものをはさんだ状態で使用しないでください。びん詰など密封された容器内の食品は、ふたなどはずしたあとに加熱してください。金属製の容器、金・銀はく、金・銀粉または針金を用いた容器などを使用しないでください。空気吸入口及び排出口はふさがらないでください。ドアにもものを挟んだ状態で使用しないでください。

#### **【危険】**

##### **感電のおそれあり**

吸排気口や穴などに、ピンや針金などの金属物や異物を入れない。修理技術者以外の人は絶対に分解しない。

#### **【警告】**

##### **感電のおそれあり**

アースを確実に取り付ける。

#### **【注意】**

##### **破裂・やけどのおそれあり**

卵など、膜や殻付きのものは加熱しない。

##### **電波漏れのおそれあり**

ドアに無理な力を加えない。

##### **発煙・発火や火花の出るおそれあり**

庫内や付属品に食品カスなどがついたまま加熱しない。食品や飲み物を加熱しすぎない。

##### **やけどのおそれあり**

仕様中や使用後しばらくは、ドアや本体の高温部（天面・側面・後面及び庫内など）に触れない。

### 焦げ・変形のおそれあり

本体の上に物を置かない。

### 高圧注意

技術のある修理技術者以外の方は、絶対にキャビネットをあけないでください。キャビネットの内部には数千ボルトの高電圧部分が数多くあります。万一さわると危険です。

取扱説明書記載内容（禁止・危険・注意・ピクトグラム）

### ○安全上のご注意 P.1～P.6

- この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

 <b>危険</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容
 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

- お守りいただく内容を、図記号で区分して説明しています。

 してはいけない 「禁止」の内容	 必ず実行していただく 「強制」の内容	 「注意をうながす」内容
--	---	--

### 【危険】



**分解禁止**（分解禁止）分解・修理・改造をしない。火災・感電・けがの原因になります。

修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

（禁止）吸気口・排気口や製品のすきま、庫内の開口部に、異物を入れない。火災・感電・けがの原因になります。異物が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください

### 【警告】

#### 電源プラグ・電源コードは

（強制）電源プラグのほこりは定期的にとる。ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災・感電の原因になります。電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。ショートによる火災・感電の原因になります。電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセ

ントを単独で使う。火災の原因になります。お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。感電やけがの原因になります。ただし使用後 1 分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



**ぬれ手禁止** (ぬれ手禁止) ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。感電・やけど・けがの原因になります。

(禁止) 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。電源コードをたばねて通電しない。過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのぼして使用してください。持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない。火災・感電の原因になります。電源コードを傷つけない。傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

**アースは**



**アースを必ず接続**

(アースを必ず接続) アースを必ず取り付ける。故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事 (D 種接地工事) が義務付けられています。・湿気の多い場所。土間・コンクリート床・貯蔵室など。飲食店の厨房など。・水気のある場所。洗い場など水を扱うところ。水滴が飛び散るところ。地下室など結露しやすいところ。

(強制) 水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断機を接地する。水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断機の設置が義務付けられています。(ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。) 詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

(禁止) アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない。爆発・火災の原因になります。

**調理中は**

(強制) 繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意する。ラップをする、加熱し過ぎないなど注意して調理してください。

(禁止) 調理中はそばを離れない。食材が発煙・発火することがあるので、注意してください。

**レンジ加熱中は**

(強制) 卵は必ず割りほぐしてから加熱する。殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる。びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する。破裂して、けがややけどの原因になります。乳幼のミルクやベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後かき混ぜて温度を確認する。やけどのおそれがあります。

(禁止) 缶詰・びん詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない。破裂のおそれがあります。必ず別容器に移し替えてから加熱してください。ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない。爆発して大変危険です。

### 飲み物などの加熱時は

(指示) 飲み物などの加熱時は加熱し過ぎないように注意する。加熱前・加熱後はスプーンなどでかき混ぜる。飲み物や油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

### その他

(禁止) 吸気口・排気口をふさがない。火災の原因になります。

(禁止) 屋外で使用しない。

(禁止) 壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない。

(禁止) 畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない。火災の原因になります。



**水ぬれ禁止** (水ぬれ禁止) 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない。本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。火災・感電の原因になります。

(禁止) スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）。

(禁止) 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない。

(禁止) 油煙の舞う場所や近くで使用しない。火災の原因になります。

(禁止) 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない。

(禁止) 乗ったり寄りかかったりしない。感電・やけど・けがなどの原因になります。

(禁止) 扉に無理な力を加えない。変形して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。



**プラグを抜く** (プラグを抜く) 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセン

トから抜く。発煙・火災・感電のおそれがあります。〔異常の例〕・異常な音やにおいがする。・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。・運転中時々電源が切れる。・触れるとピリピリ電気を感じる→使用を中止し、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

### 【注意】

#### 安全に設置する

(強制) 水平で安定した場所で使用する。不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。

(強制) 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す。壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、過熱・火災の原因になります。風通しが良く、水などのかからないところに設置してください。

場所	上方	側方(左)	側方(右)	後方	下方
隔離距離(c m)	10 以上	10 以上	10 以上	10 以上	0

(禁止) 肩より高い位置に設置しない。食材を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。

(禁止) 本体の上や下にものを置かない。火災の原因になります。

(禁止) 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない。

(禁止) 扉が損傷したときは使用しない。感電や電波もれによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

(禁止) 扉にものをはさんだまま使用しない。誤作動して電波もれにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。

#### 電源プラグ・電源コードは



プラグを抜く (プラグを抜く) 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く (プラグを抜く) 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

(禁止) 電源コードは本体の下を通さない。火災の原因になります。

## 加熱禁止

(禁止) レンジで金属容器や金串は使用しない。放電・火花・過熱・やけどの原因になります。アルミホイルを使用する場合は、庫内壁面に近づけないよう注意してください。

(禁止) 鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま加熱しない。火災の原因になります。

(禁止) 庫内が空のまま加熱しない。過熱して火災の原因になります。

(禁止) 衣類の乾燥やふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない。火災や異常動作の原因になります。

(禁止) 業務など家庭用以外で使用しない。本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外の用途で使用すると、火災などの原因になります。

## 加熱中・加熱後は



**接触禁止** (接触禁止) 加熱中・加熱後は高温になっている部分にさわらない。加熱中・加熱後しばらくは、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



**高温注意** (高温注意) ラップを外すときは注意する。蒸気でやけどするおそれがあります。

## 食材が発煙・発火した場合は

(禁止) 扉を開けない。食材が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。

## その他

(指示) 庫内は常にきれいにする。発火するおそれがあります。また、庫内が損傷すると、電波漏れなど危険な状態になるおそれがあります。

(禁止) 丸皿に衝撃を加えない。破損してけがの原因になります。

## ○使用上のご注意 P.7

(注意) ラジオやテレビに近づけないでください。ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。無線 LAN 機器から話してください。無線 LAN 通信機能が低下する場合があります。本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外の用途に使用す

ると、短時間での破損・故障の原因になります。加熱中は加熱むらをおさえるために付属の「丸皿」が回ります。回転方向は調理のたびに変わることがあります。

#### **廃棄について**

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

#### **○ご使用前の準備 P.13、P14**

(警告) ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

(注意) 加熱中・加熱後は、ガラス窓、庫内、丸皿などが熱くなりますのでやけどにご注意ください。

#### **○自動調理 1 あたため・2 冷凍もののあたため P.17**

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。

(注意) 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### **○自動調理 3 お弁当・4 牛乳・酒・8 コーヒー・10 お惣菜 P.18**

(警告) お弁当は、調味料の容器・アルミカップ・まるごとのゆで卵などを取り出してから加熱する。飲み物は、加熱しすぎないように注意する。飲み物は、加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる。飲み物や油脂分の多い液体（生クリームなど）は、過熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。加熱しすぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### **○自動調理 5 解凍・9 半解凍 P.19**

(注意) アルミホイルを使用するときは、庫内壁面に近づけないでください。また、鋭利な部分を作らないでください。火花が出ることがあります。発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがありますので、加熱のし過ぎにご注意ください。

#### **○自動調理 6 トースト P.20**

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。食パンを取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

### ○自動調理 7 フライ P.21

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

### ○自動調理 11 葉・果菜類・12 根菜類 P.22

(注意) 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると、火花がでることがあります。100g より少ない時は、手動加熱調理してください。「手動調理 レンジ加熱の目安 (24～25 ページ)」をご参照ください。

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

### ○手動調理 レンジ P.23

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

### ○手動調理 レンジ加熱の目安 P.24

(注意) いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。

(注意) あんまんは、先にあんが熱くなり、3分以上(冷凍品は4分以上)加熱すると発煙・発火のおそれがあります。

(注意) 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100g より少ないときは、大きめの容器に野菜が浸るくらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。(にんじん 50g+水 50mL で約 2分)

### ○手動調理 レンジ加熱の目安 P.25

(警告) 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。

(注意) 加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますのでご注意ください。

### ○手動調理 グリル P.26

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意く

ださい。加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### ○手動調理 オープン P.28

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### ○手動調理 オープン P.29

(注意) 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### ○お手入れ P.30

(注意) お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。

(お願い) 使用後は早めにお手入れしてください。みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

(注意) 庫内は汚れがついたままにしないでください。火災の原因になります。

#### ○故障かな?と思ったら P.31

(警告) ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

検体名称	F G
本体貼り付けシール内容	
<p>○上面</p> <p><b>【危険】</b></p> <p><b>感電・発火・けがのおそれあり</b>  穴やすき間に指や物を入れない。改造はしない。サービスマン以外の人は分解・修理をしない。</p> <p><b>【警告】</b></p> <p><b>感電のおそれあり</b>  アースを確実に取り付ける。</p> <p><b>発火のおそれあり</b>  熱に弱い物・燃えやすい物を近づけない。</p> <p><b>破裂・やけどのおそれあり</b>  卵など、膜や殻つきの物は加熱しない。</p> <p><b>発火・けが・やけどのおそれあり</b>  食品を加熱し過ぎない。食品以外の物を加熱しない。</p> <p><b>突然の沸とう（突沸）によるやけどのおそれあり</b>  飲み物、とろみのある物、油脂分の多い物を加熱し過ぎない。オートメニュー“おかず”で飲み物や汁物を加熱しない。（※機種によってオートメニュー名が異なります）加熱前によくかき混ぜる。加熱直後は上からのぞき込まない。</p> <p><b>【注意】</b></p> <p><b>発火のおそれあり</b>  加熱室内に食品くずや油脂分がついたまま調理しない。</p> <p><b>勢いよく燃えるおそれあり</b>  食品が燃え出したらドアは開けない。運転を止め電源プラグを抜き鎮火するのを待つ。</p> <p><b>やけどのおそれあり</b></p>	

ヒーター加熱中や終了後しばらくは高温部（庫内・ドア・本体・排気口・その周辺）に触れない。レンジ加熱でも容器や食品の出し入れに注意する。スチーム調理時ドアを開けるとき蒸気に注意する。

#### 焦げ・変形・発火のおそれあり

本体の上に物を置かない。

#### 電波漏れのおそれあり

ドアに無理な力を加えない。

（ご注意）表示部に「C」や「H」が出たときは、取扱説明書の「お知らせ表示が出たとき」をご覧ください。調理終了後、部品の冷却のためファンが回ることがあります。（自動的に止まります）このオーブンレンジは待機時消費電力オフ機能を搭載しています。ドアを開閉すると電源が「入」になり、表示部に「0」を表示します。本体と壁の間の距離は下表以上の距離を確保してください。

消防法 基準適合 組込型

可燃物からの隔離距離 (cm)				
上方	側方 (左)	側方 (右)	後方	下方
10	4.5	4.5	0	0

#### ○側面(右)

使用前に取扱説明書をよくお読みください。アースを取り付けてからご使用ください。

（使用上の注意）電源は、必ずコンセントをご使用ください。ドアにものをはさんだ状態で使用しないでください。びん詰等密封された容器内の食品は、ふた等はずした後に加熱してください。金属製の容器、金・銀はく、金・銀粉又は針金を用いた容器等を使用しないでください。吸気口及び排気口は、ふさがないでください。

（高圧注意）技術のあるサービスマン以外の方は、キャビネットをあけないでください。キャビネット内部には、数千ボルトの高電圧部分が数多くあります。万一さわると危険です。

取扱説明書記載内容（禁止・危険・注意・ピクトグラム）

## ○P.7～P.12 安全上のご注意

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>危険</b>	「死亡または重傷を負うおそれが高い」内容です。
 <b>警告</b>	「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
 <b>注意</b>	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある」内容です。

- お守りいただく内容を図記号で区分して、説明しています。

	「警告や注意を促す」内容です。
 	してはいけない「禁止」内容です。
 	実行しなければならない「指示」内容です。

### 製品内部には高圧部があります

火災・感電・けがのおそれ

#### 【危険】



**分解禁止**（分解禁止）改造はしない。修理技術者(サービスマン)以外の人は修理・分解をしない。

（禁止）吸気口・排気口・給水タンク収納部など、製品の穴やすき間に指や物を差し込まない。特に子供のいたずらなどに注意する。

### アース線は

#### 【警告】



**アース線を接続せよ**（アース線を接続せよ）アース線を確実に取り付ける。コンセントにアース端子がある場合。アース線先端の被覆を取り、芯線をアース端子に確実に取り付けて下さい。コンセントにアース端子がない場合 接地工事（電気工事有資格者による D 種接地工事）を行ってください。（本体価格には、工事費は含まれていません） ガス管、水道管、電話や避雷針のアースには取付けないでください。（法令で禁止されています）

次の場合は接地工事（電気工事有資格者による D 種接地工事）を行うように法律で義務付けられています。

- 湿気の多い場所

水蒸気が充満する場所、土間・コンクリート床、酒やしょうゆなどを醸造・貯蔵する場所

- 水気のある場所（漏電遮断機の取付けも義務付けられています）

水を取り扱う土間、洗い場など水気が多い場所、地下室などの水滴が漏出したり結露する場所

## 異常・故障時は

### 【警告】

(指示) 直ちに”とりけし”を押し使用を中止する。火災・感電・けがの原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

## 電源プラグ・電源コード・コンセントに発火や漏電をふせぐために

### 【警告】

(禁止) 電源は、交流 100V・定格 15A 以上でないものは使用せず、他製品と複数接続をしない。傷ついたり、ゆるんだりしたコンセントを使用しない。タコ足配線はしない。

(禁止) ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。電源プラグ、電源コードに水をつけたり、水をかけたりしない。電源プラグを水につけた場合は使用しない。電源プラグ、電源コードを傷つけない。加工しない。無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない。加重をかけない、重い物をのせない、挟み込まない。

(指示) 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。電源プラグのほこりは確実にふき取る（特に刃や刃の取り付け面）



電源プラグを抜く（電源プラグを抜く）長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。

### 【注意】

(禁止) 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない。電源コードは排気口などの排気口高温部に近づけない。

## 据え付けによる事故・関電・火災をふせぐために

### 【警告】

(禁止) 次のような場所には設置しない。・幼児の手の届く場所・カーテンやスプレー缶など、燃えやすい物の近く・たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなど、熱に弱い物の上

(指示) 製品や付属品の梱包材はすべて取り除き、ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管、または廃棄する。

### 【注意】

(禁止) 流しやコンロなど、水のかかるところや火気・熱気の近くで使用しない。熱に弱い壁材や家具の近く、コンセントが排気口の近くになる場所に据え付けない。

(指示) 水平で丈夫な場所に据え付ける。本体と壁の距離は下表以下の距離を確保する。

この電子レンジは、「消防法 設置基準」に基づく試験基準に適合しています 「消防法 設置基準」組込型

場所	上方	下方	左方	右方	前方	後方
隔離距離 (c m)	10	0	4.5	4.5	開放	0

#### ご使用の際の事故・関電・火災をふせぐために

##### 【警告】

(禁止) 子供だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない。ドアやドアハンドルにぶら下がらない。

(指示) 食品分量・容器・使用付属品など、本書記載の内容に従って調理する。

(禁止) 調理の目的以外には使用しない。本体の上に物を置かない。オーブン加熱やグリル加熱などは、本体が高温となるため、スプレー缶などの物が過熱して事故・やけど・変形の原因になります。付属品も過熱して変形、焦げの原因になるため置かないでください。

##### 【注意】

(禁止) 吸気口・排気口をふさがない。加熱室壁面やテーブルプレートなどに食品くずや油分が残ったまま調理しない。ドアに物を挟んだまま調理しない。ドアガラスに物をぶつかけたり、衝撃を加えたり、傷をつけたりしない。小さな傷でも、ガラスが割れることがあります。また、傷が付いてもすぐに割れず、その後のご使用中またはご使用後（放置時）の熱膨張・熱収縮により割れることがありますドアに無理な力や衝撃を加えたり、本体にのったりしない。テーブルプレートは、容器を強く当てたり落としたりしない。割れたり、ひびが入ったときは、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください。

(禁止) 本体に水をかけない。誤って水をこぼした場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。本体が転倒・落下した場合は、そのまま使用しない。お買い上げの販売店へ点検をご依頼ください。転倒・落下を防ぐ「転倒防止金具セット」（別売品）をご利用ください（→P.13）詳細は本書記載の「修理のご依頼や修理に関するご相談窓口」にお問い合わせください（→P.115）

(指示) 落雷のおそれがあるときは、電源プラグをコンセントから抜く。空焼き“73 脱臭”は次の状態で行う（→P.15）。油の焼ける臭いや煙が出ることがあります。・加熱室内に何も入れない。・煙や臭いなどに敏感な小鳥などの小動物は、別の部屋に移す。・窓を開けるか換気扇を回す

#### 調理中や調理後の事故・感電・火災をふせぐために

**【警告】**

(禁止) 加熱室内で食品が燃え出したときはドアを開けない。勢いよく燃えるおそれがあります 1.すぐに“とりけし”を押して運転を止め、電源プラグを抜く。2.本体から燃えやすい物を遠ざけ、鎮火するまで待ち、火がなかなか衰えないときは水か消火器で消す。鎮火後、そのまま使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください。

(指示) 調理やお手入れを中止するときは電源プラグを抜かず“とりけし”を押す。

**【注意】**

(禁止) 食品を入れた容器にふたをしたまま過熱しない。高温になっているので、キャビネット・排気口・ドア・加熱室・テーブルプレートなどに直接触れない。ドアを開けるときはのぞき込まない。高温のドアガラスやテーブルプレートなどに水をかけない。冷却ファンが作動しているときは電源プラグを抜かない。小鳥などの小動物を近づけない。

(指示) 食品や容器、付属品などの出し入れは、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使用する。



指のケガに  
注意

(指のケガに注意) ドアを開閉するときは、指の挟みこみに注意する。

給水タンクは (禁止)

水以外は入れない。破損したまま使わない。食器洗い乾燥機や食器乾燥機などで洗ったり、乾燥させたりしない。コンロのそばや本体の上など高温になる場所に置かない。熱湯につけたり、熱湯消毒などはしない。

(指示) 新しい水を入れる。こまめに洗い、清潔を保つ。

**お手入れの際の事故・感電・火災をふせぐために**

**【警告】**



電源プラグを抜く (電源プラグを抜く) 電源プラグを抜いてから行う。

(指示) 本体各部や付属品などが冷めてから行う。

(禁止) 本体や付属品などは金属たわしや鋭利な物でこすらない。加熱室底面の保護カバーは取り外さない。

**オートメニューのあたためや手動調理のレンジ加熱の事故・感電・火災をふせぐために**

**【警告】**

(禁止) 食品以外は過熱しない。市販のレンジ加熱用の湯たんぽ、哺乳びん (消毒バック)、玩具などは加熱しないでください。少量の食品(100g 未満)を加熱する場合や手動調

理で過熱を追加するときはそばを離れない。食品を加熱しすぎない。・少量の食品（100g未満）は手動調理レンジ 500W 以下で、加熱時間を 20 ～50 秒に設定し、様子を見ながら加熱する。・オートメニューは、食品分量・容器など本書記載の内容に従って加熱する。容器の重さは、食品分量と同じくらいの物を使用して加熱します。・手動調理（レンジ加熱）は、設定する時間を控えめにし、食品の仕上がり具合を見ながら加熱する。

（禁止）次のような状態で加熱しない。・鮮度保持剤（脱酸素剤など）を入れた状態・包装や食品にラベルやテープを貼った状態・びんや容器にふたや栓などをした状態・キッチンペーパーなどの紙類で包んで加熱しない。・缶詰の缶のままの状態・市販のレトルト食品の袋のままの状態。鮮度保持剤は出し、ラベル・テープは剥がし、ふたや栓は外し、缶詰などは別の容器に移しかえて加熱してください。

生卵やゆで卵（殻つき・殻なしとも）、目玉焼きは加熱しない。

（指示）卵は溶きほぐしてから加熱する。

（指示）殻や皮（膜）のある食品は、割り目や切り目を入れてから加熱する。

#### 【注意】

（禁止）加熱室に食品を入れない状態で加熱しない。金属製の次の物は使用しない。・金ぐしや金属の調理用具・アルミホイル・金属・ホーローの鍋、ふた・アルミなどで表面加工されたプラスチック容器

（指示）乳幼児用ミルク、ベビーフードや介護食をあたためるときは、手動調理（レンジ加熱）で加熱後、かき混ぜてから、温度を確認する。市販のベビーフードは、別の容器に移しかえて加熱する。ラップなどのおおいは、加熱後ゆっくりと剥がす。

#### 飲み物などをあたためる際の突然の沸騰（突沸）をふせぐために

##### 【警告】

（禁止）飲み物などを加熱しすぎない。・飲み物（水・牛乳・お酒・コーヒー・豆乳など）・とろみのある物（カレー・シチューなど）・油脂分の多い物（生クリーム・バターなど）加熱し過ぎた場合は、1 ～ 2 分程度加熱室内で冷ましてから取り出してください。“1 おかずあたため”で飲み物や汁物などを加熱しない。牛乳、お茶、コーヒー、水は“4 飲み物・牛乳”で加熱する。・お酒は手動調理（レンジ加熱）で加熱する。・みそ汁・スープなどは手動調理（レンジ加熱）で加熱する。加熱後に追加で加熱するときは、手動調理レンジ 500W 以下で様子を見ながら加熱してください。

（禁止）加熱直後は上からのぞきこまない。容器の半分以下（少量）のときはオートメニューで加熱しない。加熱直後はインスタントコーヒーなどの粉末やミルクなどの液体を入れない。

（指示）飲み物などをあたためるときは、背の低い広口の容器を使用する。加熱前によくかき混ぜる。加熱室から取り出すときは、静かに取り出す。

#### ○使うときの確認と準備

## 空焼き(脱臭)をする P.15

### 【注意】



**接触禁止** (接触禁止) 空焼き“73 脱臭”の加熱中や終了後しばらくは、本体(ドア、キャビネット、加熱室とその周辺)に触れない。

(禁止) 空焼き“73 脱臭”を行うときは、加熱室に何も入れない。

(指示) 空焼き“73 脱臭”を行うときは、油の焼ける臭いや煙が出る場合があるので、窓を開けるか、換気扇を回す。

(指示) 煙や臭いなどに敏感な小鳥などの小動物は、別の部屋に移す。

## ○使いかた

### テーブルプレートの使いかた P.21

#### 【注意】

(指示) 熱くなったテーブルプレートの出し入れは厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。やけどのおそれがあります。このテーブルプレートは、レンジ、オーブン、グリル加熱時に使用するため、各加熱時によりテーブルプレートの置く位置が異なるので注意する。

(指示) オーブン、グリル使用後は、テーブルプレートが熱くなっているため、ラップ類やプラスチック容器を使用する際は、テーブルプレートが冷めてから使用する。溶けるおそれがあります。

### 給水タンクの使い方 P.23

#### 【注意】

(指示) スチーム、過熱水蒸気とオーブンやグリルを併用した場合は給水タンク内の残水が熱くなっているので注意する。

## ○オートメニュー

### お総菜・ごはんのあたため P.26

#### 【注意】

(禁止) 分量が 100g 未満のときはオートメニューで加熱しない。手動調理レンジ 500W 以下で加熱時間 20～50 秒に設定し、様子を見ながら加熱する。(→P.43～45)

### 飲み物のあたため P.30

#### 【警告】

(禁止) 飲み物は容器の半分以下(少量)のときはオートメニューで加熱しない。加熱し過

ぎになり、加熱中や加熱後に突然沸とう（突沸）して飛び散り、やけど・けがの原因になります。手動調理（レンジ加熱）（→P.43～45）で様子を見ながら加熱します。

#### コンビニ弁当のあたため P.31

##### 【警告】

（禁止）ゆで卵や目玉焼きは破裂する恐れがあるので加熱しない（加熱する前に取り除きます）。

#### 下ごしらえをする P.36

##### 【注意】

（禁止）分量が 100g 未満のときはオートメニューで加熱しない。火災の原因になります。レンジ 500W（→P.43～45）で様子を見ながら加熱します。

（禁止）キッチンペーパーなどの紙類で包んで加熱しない。火災の原因になります。

#### 調理をする 予熱をしないメニュー P.38

##### 【注意】

（指示）付属品の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。取り出したテーブルプレートは、熱に弱い場所には置かないでください開いたドアの上に置きます。子供や幼児が触れないように気をつけてください。破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください。

#### 調理をする 予熱をするメニュー P.39

##### 【注意】

（指示）付属品の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。取り出したテーブルプレートは、熱に弱い場所には置かないでください開いたドアの上に置きます。子供や幼児が触れないように気をつけてください。破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください。

#### 調理をする 冷凍食品パリッと調理 P.42

##### 【注意】

（指示）付属品の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。取り出したテーブルプレートは、熱に弱い場所には置かないでください開いたドアの上に置きます。子供や幼児が触れないように気をつけてください。破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください。

（禁止）分量が 100g 未満のときはオートメニューで加熱しない。火災の原因になります。レンジ 500W（→P.43～45）で様子を見ながら加熱します。

## ○手動調理

### レンジ加熱する(手動調理) P.43

#### 【警告】

(禁止) 生卵やゆで卵(殻つき・殻なしとも)、目玉焼きは加熱しない。卵が破裂してテーブルプレートやドアガラスが破損するおそれがあります。卵を加熱する場合は、溶きほぐしてから加熱する。

### グリル加熱する(手動調理) P.47

#### 【注意】

(指示) 付属品の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。取り出したテーブルプレートは、熱に弱い場所には置かないでください開いたドアの上に置きます。子供や幼児が触れないように気をつけてください。破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください。

### オーブン加熱する(手動調理) 予熱有 P.48

#### 【注意】

(指示) 付属品の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。取り出したテーブルプレートは、熱に弱い場所には置かないでください開いたドアの上に置きます。子供や幼児が触れないように気をつけてください。破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください。

### オーブン加熱する(手動調理) 予熱無 P.49

(指示) 付属品の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。取り出したテーブルプレートは、熱に弱い場所には置かないでください開いたドアの上に置きます。子供や幼児が触れないように気をつけてください。破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください。

### 発酵する(手動調理) スチームレンジ発酵 P.52

#### 【注意】

(禁止) 加熱室の温度が低いとき、上ヒーターが過熱する場合があります、ドア、キャビネット、加熱室とその他の周辺に触れない。やけどの原因になります。

(禁止) 金属製容器を使わない。火花(スパーク)による故障・発火の原因になります。

## ○お手入れ

## 本体をお手入れする 清掃(水滴や汚れをとる) P.57

### 【警告】

(禁止) 保護カバーは取り外さない。けが・故障の原因になります。保護カバーは機械室内部の回転機構部を保護するためのカバーです。

### 【注意】

(禁止) 加熱室内壁、ドアガラスに食品くずや油分、汁をつけたままにしない。火花(スパーク)が出たり、さびや悪臭・破損・発煙・火災の原因になります。加熱室内は塗装コート処理がしてあります。傷つきやすいので、たわしなどかたい物でこすらないください。

(禁止) キャビネットやドア、操作パネル、加熱室内に水をかけない。感電、故障の原因になります。

## 本体をお手入れする 清掃(加熱室の汚れをとる) P.59

### 【注意】

(禁止) “71 清掃”“72 水抜き”の加熱中や終了後、顔などを近づけて、ドアを開けない。やけど・けがの原因になります。加熱終了後も一部スチームが出ていることや、お湯が飛び出すことがあります。

(禁止) “71 清掃”“72 水抜き”の中断や、終了後は加熱室側面のスチーム噴出口には触れない。スチーム噴出口の近傍は熱くなっており、やけどの原因になります。加熱室が熱くなくても、スチーム噴出口やネジ部が高温になっていることがあります。

## ○レシピ集

### ローストビーフ P.70

【注意】テーブルプレートの出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオープン用手袋を使う。

### マカロニグラタン P.75

【注意】具によっては飛び散ることがあるので注意する。いかを使うときは全体に切り目を入れ、マッシュルームは切った物を使ってください。

### エクレア P.98

【注意】バターと水を加熱するとき飛び散ることがあります。バターを大きなかたまりのまま加熱すると飛び散ります。深めの耐熱容器を使い、バターは3～4個に切って水と一緒に入れて、小麦粉小さじ1をふり入れて加熱すると飛び散りを防ぐことができます。

### トースト P.101

【注意】 バター、ジャム等を多量に塗ったパンを焼かない。火災の原因になります。

### 冷凍食品パリッと調理 冷凍鶏のから揚げ P.108

#### 【注意】

(指示) 付属品の出し入れは、やけどのおそれがあるので、厚めの乾いたふきんやお手持ちのオーブン用手袋を使う。取り出したテーブルプレートは、熱に弱い場所には置かないでください開いたドアの上に置きます。子供や幼児が触れないように気をつけてください。破れたオーブン用手袋や水にぬれたふきんは使わないでください。

(禁止) 分量が 100g 未満の時はオートメニューで加熱しない。火災の原因になります。レンジ 500W (→P.43~45) で様子を見ながら加熱します。

検体名称	FM
本体貼り付けシール内容	
<p>○上面</p> <p><b>【危険】</b></p> <p><b>火災・感電・ケガ・電波漏れによる人体への被害のおそれ</b></p> <p>自分で分解・修理・改造しないでください。修理についてはお買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。吸気口・排気口・製品のすき間にピンや針金など金属製のもの、指を入れないでください。</p> <p><b>【警告】</b></p> <p><b>感電のおそれあり</b></p> <p>アースを確実に取り付けてください。</p> <p><b>取り出す際に突然沸騰し、やけどのおそれあり</b></p> <p>飲み物（コーヒー、牛乳、みそ汁など）や、生クリームなどの油脂分の多い液体は加熱しすぎないでください。加熱前にスプーンなどでかきまぜてください。</p> <p><b>発煙・発火のおそれあり</b></p> <p>根菜類（さつまいもなど）は加熱しすぎないでください。少量の食品は様子を見ながら加熱してください。調理中はそばを離れないでください。吸気口および排気口はふさがらないでください。本体の上にものを置かないでください。</p> <p><b>【注意】</b></p> <p><b>電波漏れによる人体への被害や、転倒によるケガのおそれ</b></p> <p>扉や庫内に無理な力を加えないでください。</p> <p>○側面(左)</p> <p>（使用上の注意）アースを取り付けてご使用ください。電源は必ずコンセントをご使用ください。扉にもものをはさんだまま使用しないでください。びん詰等密封された容器内の食品はふた等はずした後に加熱してください。金属製の容器、金・銀はく、金・銀粉または針金を用いた容器等を使用しないでください。吸気口および排気口はふさがらないでください。</p> <p><b>【危険】</b></p>	

### **感電・発火のおそれあり**

排気口や穴などに金属物や異物、指を入れないでください。自分で絶対に分解・修理・改造をしないでください。

#### **【警告】**

### **感電のおそれあり**

アースを確実に取り付けてください。

#### **【注意】**

### **破裂・やけどのおそれあり**

卵等、皮や殻のある食品は加熱しないでください。

### **電波漏れ・転倒のおそれあり**

扉に無理な力や衝撃を加えないでください。

### **やけど・故障のおそれあり**

庫内が空のまま使用しないでください。

### **高圧注意**

修理技術者以外の方は、絶対にキャビネットをあけないでください。キャビネットの内部には、数千ボルト高圧部分が数多くあります。万一触ると危険です。

### **お願い**

ご使用前には必ず取り扱い説明書をお読みください。

### **○内側**

- ・食品を入れずに加熱しない。(火花が出て故障のおそれあり)
- ・食品・のみものは加熱しすぎない。(やけど・突沸・発煙・発火のおそれあり)
- ・金属容器はレンジ加熱で絶対に使用しない。(火花が出て故障のおそれあり)
- ・庫内に汚れなどがついたまま加熱しない。(発煙・発火のおそれあり)
- ・レンジ加熱後しばらくは庫内に手を触れない。(やけどのおそれあり)

取扱説明書記載内容 (禁止・危険・注意・ピクトグラム)

## ○P.2～P.5 安全上の注意

### 図記号の意味



注意を促す記号です。



行為を禁止する記号です。



必ず行うことを示す記号です。

**【危険】** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。



分解禁止

(分解禁止) 分解・修理・改造をしない。火災・感電・けがの原因になります。

修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

(禁止) 吸気口・排気口や製品のすき間、庫内の開口部に、異物を入れない。火災・感電・けがの原因になります。異物が入ったときは、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。

**【警告】** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

(必ず行うこと) 電源プラグのほこりは定期的に取り除く。ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。ショートによる火災・感電の原因になります。電源は交流 100V、定格 15A 以上のコンセントを単独で使う。火災の原因になります。



プラグを抜く

(プラグを抜く) お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。感電やけがの原因になります。ただし、使用后 1 分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

(ぬれ手禁止) ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。感電・やけど・けがの原因になります。

(禁止) 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。電源コードをたばねて通電しない。過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。電源コード

を傷つけない。持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない。傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



アースを  
必ず接続

(アースを必ず接続) アースを必ず取り付ける。故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事 (D種接地工事) が義務付けられています。・湿気の多い場所、土間・コンクリート床・貯蔵室など、飲食店の厨房など、・水気のある場所、洗い場など水を扱うところ、水滴が飛び散るところ、地下室など結露しやすいところ。

(必ず行うこと) 水気が多いところで使用する場合は、漏電遮断機を設置する。水気が多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断機の設置が義務付けられています。

(ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。) 詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

(禁止) アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない。爆発・火災の原因になります。

(禁止) 調理中はそばを離れない。食材が発煙・発火することがあるので、注意してください。

(必ず行うこと) 繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意する。ラップをする、加熱し過ぎないなど注意して調理してください。

(禁止) 屋外で使用しない。壁や家具、カーテンなど、燃えやすい。ものの近くで使用しない。畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない。火災の原因になります。

(必ず行うこと) 卵は必ず割りほぐしてから加熱する。殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる。びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する。破裂して、けがややけどの原因になります。乳児のミルクやベビーフード、介護食などをあたためるときは、加熱後かき混ぜて温度を確認する。やけどのおそれがあります。

(禁止) 缶詰・びん詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない。破裂のおそれがあります。必ず別容器に移し替えてから加熱してください。ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない。爆発して大変危険です。

(必ず行うこと) 飲み物などの加熱時は加熱し過ぎないように注意する。加熱前・加熱後はスプーンなどでかき混ぜる。飲み物や油脂分の多い液体 (生クリームなど) は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

(水ぬれ禁止) 水まわり、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しない。本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない。火災・感電の原因になります。

(禁止) スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)。引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のもののそばで使わない。油煙の舞う場所や近くで使用しない火災の原因になります。

(禁止) 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない。乗ったり寄りかかったりしない。感電・やけど・けがなどの原因になります。扉に無理な力を加えない。変形して電波もれにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。

(必ず行うこと) 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。発煙・火災・感電のおそれがあります。〔異常の例〕・異常な音やにおいがする。・電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる。・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。・運転中時々電源が切れる。・触れるとピリピリ電気を感じる

(禁止) 吸気口・排気口をふさがない。火災の原因になります。

**【注意】誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。**

(必ず行うこと) 水平で安定した場所で使用する。不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す。壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、過熱・火災の原因になります。風通しが良く、水などのかからないところに設置してください。

場所	上方	側方(左)	側方(右)	後方	下方
隔離距離(c m)	10 以上	10 以上	10 以上	10 以上	0

(禁止) 肩より高い位置に設置しない。食材を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。

(禁止) 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない。扉が損傷したら使用しない。感電や電波もれによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店または修理専用コールへご依頼ください。扉にもものをはさんだまま使用しない。誤動作して電波もれにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。



プラグを抜く

(プラグを抜く) 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。絶縁低下により、火災・感電の原因に

なります。

(禁止) 電源コードは本体の下を通さない。火災の原因になります。

(禁止) 本体の上にものを置かない。本体の下にものを置かない。火災の原因になります。

(禁止) 金属容器・金串・アルミホイルは使用しない。放電・火花・過熱・やけどの原因になります。鮮度保持剤(脱酸素剤)を入れたまま加熱しない。火災の原因になります。庫内が空のまま加熱しない。過熱して火災の原因になります。

(禁止) 食材が発煙・発火した場合は扉を開けない。食材が発火した場合は、取消ボタンを押してすぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が流れ込み、炎が大きくなります。また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。

(必ず行うこと) 庫内は常にきれいにする。発火するおそれがあります。また、庫内が損傷すると、電波もれなど危険な状態になるおそれがあります。



**接触禁止** (接触禁止) 加熱中・加熱後は高温になっている部分にさわらない。加熱中・加熱直後は、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



**高温注意** (高温注意) ラップを外すときは注意する。蒸気でやけどするおそれがあります。

ぬれたミトンやふきんは使用しない。熱が伝わりやすく、やけどのおそれがあります。

(禁止) 衣類の乾燥やふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない。火災や異常動作の原因になります。業務など家庭用以外で使用しない。本製品は家庭用として設計されています。業務など家庭用以外で使用すると、火災などの原因になります。

### 使用上の注意

ラジオやテレビに近づけないでください。ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。無線 LAN 機器から離してください。無線 LAN の通信機能が低下する場合があります。扉を開けると電源が入ります。扉を開けたままにすると、約 10 分後に電源が切れます。扉を閉めた状態で、何も操作をしないと、約 5 分で電源が切れます。ボタンを操作するとお知らせ音が鳴ります。調理終了もお知らせ音でお知らせします。取り忘れ防止のために、調理終了後扉を開けないと「ピピッ、ピピッ、ピピッ♪」と鳴ってお知らせします。

(1 分ごとに 5 回くり返します。)

### 廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

### **保護装置について**

連続使用したり、水分の少ない食材を加熱したりすると、過熱による故障を防ぐための保護装置が働いて、運転が自動停止することがあります。保護装置が働いたときは、30分ほどお待ちください。保護装置が解除され再び使用できるようになります。

### **○取り扱いかた**

#### **準備 P.9**

(警告) 熱ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

#### **使いかた P.10**

(注意) ラップをかけるときはゆったりとかけてください。蒸気で仕上がりを検知するので、ラップをきつくかけると蒸気が検知できず、温度が上がりすぎる場合があります。

(注意) 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### **使いかた 自動あたため (飲み物・ごはん・お弁当) P.11**

(警告) お弁当は、調味料の容器・丸ごとのゆで卵・アルミカップなどを取り出してから加熱してください。

(注意) 飲み物は、加熱前と加熱後にスプーンなどでかき混ぜてください。

(注意) 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### **使いかた 手動加熱 P.12**

(注意) 加熱後は容器が熱くなるので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

#### **使いかた 解凍 P.13**

(注意) アルミホイルを使うときは、庫内壁面に近づけないでください。また鋭利な部分を作らないでください。火花が出ることがあります。

(注意) 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがあるので、加熱のし過ぎに注意してください。

#### **加熱の目安 P.14、15**

(注意) いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。

(注意) あんまんは、先にあんが熱くなり、3分以上(冷凍品は4分以上)加熱すると発煙・発火のおそれがあります。

(注意) 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜がひたるくらいの水を入れ、ふたをして加熱してください。(にんじん 50g+水 50mL で約2分)

(警告) 繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。

(注意) 加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますので注意してください。

#### **お手入れ P.16**

(注意) お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。庫内壁面は汚れが付いたままにしないでください。火災の原因になります。使用後は早めにお手入れしてください。みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

#### **故障かな?と思ったら P.18**

(警告) 自分で分解・修理・改造はしないでください。

検体名称	F I					
本体貼り付けシール内容						
○上面						
□消防法 基準適合 組込型						
場所	上方	左方	右方	前方	後方	下方
隔離距離(c m)	10	2	2	(解放)	0	0
【危険】						
<b>感電・発火のおそれあり</b>						
穴やすき間に金属物を入れない。自分で絶対に分解・修理・改造をしない。						
【警告】						
<b>破裂・やけどのおそれあり</b>						
レンジ(電波)を使う加熱時は、卵は必ず割りほぐす。ぎんなんなど、殻や膜のある食品は割れ目を入れる。ビン・容器のふたや、ネジ式のせんは外す。						
<b>突然の沸とうによる飛び散り・やけどのおそれあり</b>						
牛乳やコーヒーなどの飲み物は、加熱しすぎない。広口で背の低い容器に8分目まで入れる。加熱前、過熱後にスプーンなどでかき混ぜる。庫内中央に置く(端置きしない)。自動であたためる場合は、必ず、「飲み物」ボタンで、杯数を合わせて加熱する。						
<b>過加熱による発火・発煙・やけどのおそれあり</b>						
食品を加熱しすぎない。						
<b>火災のおそれあり</b>						
吸気口や排気口をふさがない。						
<b>発火のおそれあり</b>						
燃えやすい物を近づけない。						
<b>感電のおそれあり</b>						
アースを確実に取り付ける。						
【注意】						

#### **電波漏れのおそれあり**

ドアに無理な力を加えない。

#### **焦げ・変形のおそれあり**

本体の上に物を置かない。

#### **発火や発煙のおそれあり**

庫内に付着した油や食品カスを放置したまま加熱しない。

#### **やけどのおそれあり**

ヒーター調理中や、調理終了後は高温部（本体・ドア・庫内・付属の角皿）に素手で触れない。ただし、操作部・ドアハンドルを除く。

#### **○側面(右)**

（使用上の注意）イ.アース取り付けてご使用ください。ロ.電源は必ずコンセントをご使用ください。ハ.とびらにもものをはさんだ状態で使用しないでください。ニ.びん詰等密封された容器内の食品はふた等を外した後に加熱してください。ホ.金属製の容器、金・銀はく、金・銀粉又は針金を用いた容器等を使用しないでください。ヘ.吸入口及び排出口はふさがないでください。

（高圧注意）技術のあるサービスマン以外の方は、絶対にキャビネットをあけないでください。キャビネットの内部には数千ボルトの高電圧部分が数多くあります。万一さわると危険です。

ドアのガラス面に水をかけないでください。

#### **○内側**

##### **【警告】**

#### **突然の沸とうによる飛び散り、やけどのおそれあり**

牛乳やコーヒーなどの飲み物を、自動であたためる場合は、必ず、「飲み物」で、杯数を合わせてあたためる。

#### **発煙・発火のおそれあり**

食品は、中央に置き、加熱しすぎない。少量や指定分量以外の食品は、手動「レンジ」で様子を見ながら加熱する。レンジ（電波）を使う加熱では、火花が飛んだり、庫内底面が異常高温となり破損したりするため、金属容器・付属の角皿は使わない。レトルトパウチ食品も加熱しない。

##### **【注意】**

やけどのおそれあり

ヒーター調理中、調理後は庫内底面に手を触れない。

○裏側

高温注意

取扱説明書記載内容（禁止・危険・注意・ピクトグラム）

○P.4～P.9 安全上のご注意

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

 <b>危険</b> 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。	 してはいけない内容です。
 <b>警告</b> 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	  実行しなければならない内容です。
 <b>注意</b> 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	  気を付けていただく内容です。

【危険】

 （禁止）自分で絶対に修理・分解・改造をしない。感電や発火、異常動作によるけがのおそれがあります。故障した場合はお買い上げの販売店にご相談ください。吸気口・排気口・製品のすき間に針金などの金属物や異物、指を入れない。高圧部があり、感電やけがのおそれがあります。異物が本体に入ったらまず電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にご相談ください。

【警告】

設置するとき

（禁止）吸気口・排気口はふさがらない。火災の原因になります。ごみ、ほこりなどで吸気口・排気口がふさがれないようこまめにお手入れしてください。

（禁止）スプレー缶などの近くで使わない。ヒーター使用時の熱で、引火や爆発のおそれがあります。



（アースを確実に取り付ける）アースを確実に取り付ける。故障や漏電のときに、感電のおそれがあります。

（禁止）燃えやすい物や火気の近くでは使わない。（たたみ、じゅうたん、テーブルクロスの上、カーテンなど）。ヒーター使用時は、高温になり、引火や火災の原因になります



(禁止) 水のかかる場所では使わない。感電や漏電の原因になります。

### 自動での加熱時、事故を防ぐために

(実行しなければならない) 食品、飲み物は庫内中央に置く。端に置くと、赤外線センサーが正しく検知できずに、食品は発火や発煙、飲み物は沸とうによる突然の飛び散りでやけどのおそれがあります

### レンジ（電波）の加熱時は

(禁止) 食品を加熱しすぎない。過熱により、発火や発煙、やけどのおそれがあります。以下の場合、自動で加熱しない。○少量や指定分量※1以外の食品。○100 g未満の食品(45°C以上に設定してあたためるとき)。○ふた、およびふた付きの容器での加熱※2→「レンジ」ボタンで様子を見ながら加熱する。※1 指定分量はメニューによって異なります。各ページを参照してください。※2 「28 茶わん蒸し」などふたが必要な自動メニューもあります。各ページを参照してください。

(実行しなければならない) 「レンジ」ボタンでは、設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する。食品の分量に対して、加熱時間が長いと、過熱により、発火や発煙、やけどのおそれがあります。特に、水分が少ない食品、薄く小さく切った野菜、油脂の多い食品・液体は、少量だけ加熱すると、焦げやすく、加熱が進むと煙が出たり、発火したりする場合があります。必ず、加熱時間を控えめにし様子を見ながら加熱してください。

### 飲み物などの加熱時、やけどを防ぐために（突沸に注意）

(禁止) 飲み物を加熱しすぎない。加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。牛乳、コーヒー、お茶、ジュース、水などを自動であたためるときは、必ず、「2 飲み物」ボタンで数量を合わせて加熱する。→ P.24  
お酒を自動であたためるときは、必ず、「3 酒かん」ボタンで数量を合わせて加熱する。→ P.24

(実行しなければならない) 「レンジ」ボタンで加熱するとき、設定時間を控えめにする。加熱しすぎると、加熱後、取り出したあとに突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。

(実行しなければならない) 加熱前、加熱後は必ずスプーンでかき混ぜる。加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。

(実行しなければならない) 油脂の多い食品・液体※1 や、粒入りスープ※2 を加熱するときは以下の方法で加熱する。加熱後、取り出したあとに、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。ラップをして、「レンジ」ボタンの500Wで様子を見

見ながら加熱する。※1 バター・生クリーム・オリーブ油など ※2 コーンの粒やあさりなどが入ったスープ

(実行しなければならない) 容器は庫内中央に置き、広口で背の低い容器に8分目まで入れる。端置きや、少量の加熱は沸とう、沸とうによる突然の飛び散りの原因になります。

(実行しなければならない) 容器は庫内中央に置き、広口で背の低い容器に8分目まで入れる。端置きや、少量の加熱は沸とう、沸とうによる突然の飛び散りの原因になります

### レンジ（電波）を使う加熱時の破裂を防ぐために

(禁止) ゆで卵（殻付き・殻なし）は加熱しない。破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどでけが、やけどのおそれがあります。

(実行しなければならない) 卵は必ず割りほぐす。破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどでけが、やけどのおそれがあります。

(実行しなければならない) ぎんなんなど、殻や膜のある食品は割れ目を入れる。破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどでけが、やけどのおそれがあります。

(実行しなければならない) ビン・容器のふたや、ネジ式のせんは外す。破裂による飛び散りや、衝撃による庫内底面の割れなどでけが、やけどのおそれがあります。密閉状態にならないようにする。レンジ用のふたやラップをするときは、すき間をあける。

### 電源プラグ・電源コードなどは

(禁止) 電源コードや電源プラグを傷付けない。(加工する、排気口などの高温部に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、束ねる、はさみ込むなど)。傷付いた電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使わない。破損による感電、ショートして火災などの原因になります。



(禁止) ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

(禁止) 電源プラグを抜くときは、緩んだコンセントは使わないでください。電源コードを持って引き抜かない。感電や、ショートによる発火のおそれがあります。

(禁止) 電源プラグ、電源コードは本体の後面・側面と壁などにはさみ込んで使用しない。発熱や荷重によるショートで感電、発煙、火災などの原因になります。

(実行しなければならない) 電源は、延長コードを含め、定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを必ず単独で使う。異常発熱による火災の原因になります。

(実行しなければならない) 電源プラグは、根元まで確実に差し込む。感電や発熱による火災の原因になります。緩んだコンセントは使わないでください。

(実行しなければならない) 電源プラグのほこりは、乾いた布で定期的に確実に取る。ほこりに湿気がたまり、絶縁不良で火災のおそれがあります。

(実行しなければならない) 長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。絶縁劣化で火災の原因になります。

#### 次の点もご注意ください

(禁止) 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。やけど、感電、けがのおそれがあります。

(禁止) ドアに乗ったり、ぶら下がったりしない。本体が転倒、落下し、けがのおそれがあります。



(実行しなければならない) 本体のお手入れは、電源プラグを抜き、庫内が冷めてから行う。やけど、感電、けがのおそれがあります。

(実行しなければならない) ベビーフードや介護食をあたためるときは、加熱後、かき混ぜてから温度を確認する。やけどのおそれがあります。

#### 異常・故障時には

(実行しなければならない) 直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く。発火や発煙、感電のおそれがあります。異常・故障例：●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。●異常なおいや音がする。●ドアや庫内に著しいガタや変形がある。●触ると電気を感じる。すぐにお買い上げの販売店は点検・修理を依頼してください。

#### 【注意】

##### 設置について

(禁止) 転倒や落下をさせない。けが、感電、電波漏れの原因になります。●不安定な場所に置かない。●置き台からはみ出さない。●ドアに無理な力を加えない。●転倒防止金具をご利用ください。当社電子レンジ転倒防止金具 C があります。(別売品 P.11 参照) 万一、転倒・落下したら外部に損傷がなくてもそのまま使用せず、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

(実行しなければならない) 本体上面、壁との間は下表以上の距離を確保する。過熱による壁などの焦げや変形、発火などの原因になります。●本体の上には物を置かない。●熱に弱い物やカーテンのそばに置かない。●熱に弱い壁材、家具などが排気口(→P.4)の近くにあり、汚れや変色が気になる場合は、右表の寸法以上に壁や家具から離す。この電子レンジの離隔距離は「平成 14 年 消防庁告示第 1 号」に基づく試験基準に適合しています。安全にご使用いただくために、本体上面、壁とは、右表以上の距離を確保してください。

場所	上方	左方	右方	前方	後方	下方
隔離距離(c m)	10	2	2	開放	0	0

消防法 基準適合 組込型

### 発火や発煙などを防ぐために、ご使用前に確認する

(禁止) 調理以外の目的には使わない。過熱により、発火や発煙、やけどのおそれがあります。

(禁止) レンジ(電波)を使う加熱では、庫内に食品などが入っていない状態で、動作させない。火花が出て、庫内底面が赤熱により、異常高温になるため、やけどのおそれがあります。容器や付属品だけでも動作させない。異常高温になると安全機能が働いて自動的に動作を停止することがあります。

(禁止) 庫内に付着した油や食品カスを放置したまま加熱しない。発火や発煙の原因になります。必ず庫内が冷めてからふき取ってください。

(実行しなければならない) 庫内の包装材は取り出す。焦げや変形、発火の原因になります。

(実行しなければならない) 鮮度保持剤(脱酸素剤)などを取り出す。発火や発煙のおそれがあります。

### 金属容器・付属の角皿は

(禁止) レンジ(電波)を使う加熱では、金属容器、レトルトパウチ食品、缶詰、付属の角皿などは使わない。火花が出て、発火、発煙、食品の破裂、ドアガラスの割れ、庫内底面の赤熱による割れなどで、けが、やけどのおそれがあります。使用できない金属容器の例：金属製のケーキ型、アルミホイル、アルミ製のお弁当用カップなど。レトルトパウチ食品は、パッケージの指示に従って加熱してください。

### 調理中、調理後は

(禁止) 万一、庫内で食品が燃えたら、ドアは開けない。酸素が入り、勢いよく燃えます。次の処置をして鎮火を待ってください。①「取消」ボタンを押す。②電源プラグを抜く。③燃えやすい物を、本体から遠ざける。万一、鎮火しないときは水や消火器で消火し、必ずお買い上げの販売店へご相談ください。

(禁止) 排気口(→P.4)に手や物を近づけない。湯気や熱風でやけどや変形のおそれがあります。

(禁止) 庫内底面に、衝撃を加えたり、水をかけたりしない。破損してけがをするおそれがあります。万一、破損したらそのまま使用せず、必ずお買い上げの販売店へご相談ください。



(禁止) ヒーターを使う調理中、調理後は、高温部(本体・ドア・庫内など)に素

手で触れない。やけどのおそれがあります。特に、本体や付属の角皿は高温になります。  
(実行しなければならない)「グリル」ボタンでトーストを焼くときなどは設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する。加熱時間が長いと、発火や発煙、やけどのおそれがあります。



(注意) 次の場合、熱い容器や蒸気、飛まつに気を付ける。やけどのおそれがあります。●ドアを開けるとき●食品を取り出すとき●ふたやラップを外すとき●ヒーター加熱後、付属の角皿を急冷するとき。



(注意) 角皿スチーム調理では、次の場合に付属の角皿の扱いに気を付ける。やけどのおそれがあります。●角皿に湯をはるとき●角皿を庫内に入れるとき●角皿を取り出すとき(熱い湯が残っています)

#### ドアは

(禁止) 物をはさんだまま使わない。電波漏れの原因になります。

(禁止) 調理中や調理後に水をかけない。ガラスが割れて、けがの原因になります

(注意) 開閉時は指のはさみ込みに注意する。けがのおそれがあります。

#### お弁当をあたためるときは

(禁止) 「1 あたため」ボタンや「4 お好み温度」ボタンではあたためない。容器の変形や溶けのおそれがあります。自動メニューの「7 お弁当あたため」で加熱する。→ P.24

(実行しなければならない) ふた・ラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類は取り出す。火花が出たり、破裂したりして、けが、やけどのおそれがあります

#### ○付属品・別売品 P.11

##### 【注意】

(禁止) レンジ(電波)を使う加熱では、容器や付属品だけで動作させない。火花が出て、庫内底面が赤熱により、異常高温になるため、やけどのおそれがあります。安全機能が働いて自動的に動作を停止することがあります。

#### ○各部の名称 P.12、13

##### 【注意】

(注意) ドアを開けるとき、蒸気に気を付ける。やけどのおそれがあります。

##### 【警告】

(禁止) 電源プラグ、電源コードは本体の後面・側面と壁などにはさみ込んで使用しない。発熱や荷重によるショートで感電、発煙、火災などの原因になります。

## ○あたためる P.21

### 【警告】

(禁止) 「1 あたため」ボタンや「4 お好み温度」ボタンであたためるときは

●100g 未満の食品は 45℃以上であたためない。赤外線センサーが検知できずに、発火や発煙するおそれがあります。「レンジ」ボタンで様子を見ながら加熱してください。

●粒入りスープ※はあたためない。具が飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。ラップをして、「レンジ」ボタンの 500W で様子を見ながら加熱してください。→ P.40※  
コーンの粒やあさりなどが入ったスープ

●ふた、およびふた付きの容器は使用しない。容器にふたをして加熱すると、赤外線センサーが検知できずに、食品が発火や発煙するおそれがあります。

## ○あたためるときの注意とコツ P.23

### 【注意】

(禁止) レンジ(電波)を使う加熱では、レトルトパウチ食品などはあたためない。火花が出て、発火、発煙、食品の破裂、ドアガラスの割れ、庫内底面の赤熱による割れなどで、けが、やけどのおそれがあります。レトルトパウチ食品は、パッケージの指示に従って加熱してください。

## ○あたためる 2 飲み物/3 酒かん/7 お弁当あたため P.25

### 【警告】

(禁止) 飲み物を加熱しすぎない(突沸に注意) 加熱後、取り出したあとに、突然の沸とうによる飛び散りなどでやけどのおそれがあります。自動であたためる場合、必ず、本ページの記載に従い、「2 飲み物」または「3 酒かん」ボタンで、数量を合わせて加熱する。

### 【注意】

(実行しなければならない) お弁当をあたためるときはふたやラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類は取り出す。火花が出たり、破裂したりして、けが、やけどのおそれがあります

## ○野菜をゆでる 9 ゆで葉果菜/10 ゆで根菜 P.28

### 【警告】

(禁止) ふた、およびふた付きの容器は使用しない。容器にふたをして加熱すると、赤外線センサーが検知できずに、食品が発火や発煙するおそれがあります。次の場合、自動で加熱しない。  
○100g 未満の野菜、発火や発煙のおそれがあります。  
○薄く切った物、小さく切った物(にんじんやミックスベジタブルなど)、火花が出て焦げることがあります→ 「レンジ」ボタンで様子を見ながら加熱してください。

### ○自動メニューで調理する P.33

#### 【注意】



(注意) 角皿スチーム調理では、付属の角皿の扱いに気を付ける。やけどのおそれがあります。角皿の出し入れには、必ずお手持ちのミトンなどを使い、両手で出し入れしてください。角皿に湯をはる、庫内に角皿を入れるときは、ドア・庫内に手が触れないように気を付ける。調理後、角皿を取り出すときは、熱い残り湯に注意する。

### ○レンジで加熱する P.35

#### 【警告】

(禁止) 食品・飲み物は加熱しすぎない。発火や発煙、やけどのおそれがあります。飲み物は、加熱後、取り出したあとに、突然の沸とうによる飛び散りなどでやけどのおそれがあります。設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱してください。

### ○手動加熱するときの目安時間 P.41

#### 【警告】

(禁止) 食品・飲み物は加熱しすぎない。発火や発煙、やけどのおそれがあります。飲み物は、加熱後、取り出したあとに、突然の沸とうによる飛び散りなどでやけどのおそれがあります。設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱してください。

#### 【注意】

(実行しなければならない) お弁当をあたためるときはふた・ラップを外し、ゆで卵やアルミケース、調味料類は取り出す。火花が出たり、破裂したりして、けが、やけどのおそれがあります。

### ○レシピ「つくりおき」のポイント P.49

#### 【警告】

(禁止) 「1 あたため」ボタンや「4 お好み温度」ボタンであたためるときは100g未満の食品は45℃以上であたためない。赤外線センサーが検知できずに、発火や発煙するおそれがあります。「レンジ」ボタンで様子を見ながら加熱してください。ふた、およびふた付きの容器は使用しない。容器にふたをして加熱すると、赤外線センサーが検知できずに、食品が発火や発煙するおそれがあります。

### ○お手入れする P.85

#### 【注意】

(実行しなければならない) お手入れ時、電源プラグは抜く。感電のおそれがあります。庫内が冷めてからお手入れする。やけどやけがのおそれがあります。

**【注意】**

(実行しなければならない) 庫内に付着した油や食品カスはふき取る。そのまま加熱すると発火や発煙の原因になります。必ず庫内が冷めてからふき取ってください。

検体名称	F F
取扱説明書記載内容（禁止・危険・注意・ピクトグラム）	
○安全上のご注意 P.1～P.8	
『危険』『警告』『注意』の3つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。	
 <b>危険</b>	取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う危険が差し迫って生じる可能性が想定される内容を示します。
 <b>警告</b>	取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。
<b>■表示の例</b>	
お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。	
 高温注意	△記号は、「警告や注意を促す」内容のもので、図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）を示します。
 分解禁止	○記号は、してはいけない「禁止」内容のもので、図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示します。
 プラグを抜く	●記号は、必ず実行していただく「強制」内容のもので、図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）を示します。
<b>【危険】</b>	
 分解禁止	（分解禁止）修理技術者以外の方が、分解・改造・修理をしない ●火災・感電ケガの原因になります。本体やドアなどの分解・修理・改造を行うのは危険です。また、キャビネットを外した状態では絶対に使用しないでください。修理はお買い上げの販売店または、お客さま修理ご相談窓口にご相談ください
	（禁止）吸気口・排気口にピンや針金などの金属物や異物、指を入れない ●感電・ケガの原因になります。異物が中に入ったときは、使用を中止しお買い上げの販売店にご相談ください。
<b>【警告】</b>	
	（禁止）卵はそのまま加熱しない ●破裂し、大変危険です。 ●卵を加熱するときは、よく割りほぐしてください。ゆで卵のあたためもしないでください。
	（禁止）加熱しすぎない

●飲み物（牛乳、コーヒー、水など）は、ふきこぼれたり、取り出すときに振動で突然沸騰して飛び散り、やけどのおそれがあります。（加熱後は、少し時間をおいてから取り出してください。）

●少量の食品（ポップコーン・ミックスベジタブルなど）、乾物などは発火することがあります。

（指示）設定時間を控えめにし、様子を見ながら加熱する

●食品の分量に対して加熱時間が長いと、発火や発煙のおそれがあります。特に少量の食品（ポップコーン、ミックスベジタブルなど）、油脂の多い食品や液体、根菜類（さつまいもなど）の加熱には気を付けてください。

（指示）飲み物などの加熱は、やけどを防ぐために、加熱前、加熱後に必ずかき混ぜる

●飲み物（牛乳、コーヒー、水など）は、加熱後、取り出したあとに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。

（指示）油脂の多い食品や液体（バター・生クリーム・オリーブ油など）、粒入りのスープを加熱するときはラップをして、レンジ「700W」で様子を見ながら加熱する

●加熱後、取り出したあとに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどのおそれがあります。

（禁止）密封容器に液体食品を入れて加熱しない

●爆発するおそれがあります。

（禁止）水のかかるところや火気の近くで使用しない

●感電・火災の原因になります。



水かけ禁止

（水かけ禁止）本体や庫内に水をかけない

●電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災のおそれがあります。

（禁止）子供だけで使わせない

●誤操作による危害を認識し安全に操作できない子供だけでは使わせないでください。必ず、大人の方の監督のもと使用してください。感電・ケガ・やけどの原因になります。

（禁止）燃えやすいもの、熱に弱いものを近づけない

●じゅうたん・畳・テーブルクロスの上に置いたり、カーテンなどの近くに置かないでください。焦げや火災の原因になります。

### 【警告】

（禁止）上に水など液体の入った容器を置かない

●こぼれた水などで電気絶縁が悪くなり、感電・漏電火災のおそれがあります。

（禁止）吸気口・排気口をふさがない

●内部の温度が上がり、火災の原因になります。ゴミ、ホコリなどで吸気口や排気口がふ

さがれないように、こまめにお手入れしてください。

(禁止) ドアに乗ったり、ぶら下がったりしない

●本体が転倒・落下し、ケガのおそれがあります。

(禁止) ドアやドアのすき間が破損した場合は使用しない

●必ず修理を依頼し、修理後に使用してください。電波が漏れ、人体に障害をあたえるおそれがあります。



(アース) アースを確実におこなう

・アースを取り付けないと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

#### <アースの接続について>

■コンセントにアース端子があるとき

・アース線先端の皮をむき、コンセントのアース端子に確実に接続してください。

■コンセントにアース線がないとき

・お買い上げの販売店に、アース工事(有料)を依頼してください。アース工事(D種接地工事)は電気工事士の資格が必要です。

次の場所で使うときは、必ずアースおよび漏電しゃ断器を取り付けてください。

- ・地下室などの湿気の多いところ
- ・土間やコンクリートの床など湿気の多いところ
- ・洗い場など、水のかかりやすいところ

(禁止) 次のところはアース線を接続しないでください。

- ガス管…爆発や引火の危険性があります。
- 水道管…プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- 避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。

#### <漏電しゃ断器>

水気の多いところに据え付ける場合は、アースの他に漏電しゃ断器を設置することが義務づけられています。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

#### 【警告】

(指示) 使用前に、包装材は全て取り除く

●変形・発火・火災の原因になります。

(禁止) 包装されていたポリ袋は、幼児の手の届くところに置かない

●中に入ったり、頭からかぶるなどして、窒息する原因になります。

(指示) コンセントを単独で

定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する

●他の器具と併用した場合、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

(禁止) 交流 100V 以外で使用しない

●火災の原因になります。

(禁止) 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

●もしも電源コードに損傷がある場合は、すぐにお買い上げの販売店またはお客さまご相談窓口にご相談ください。修理は必ず資格を持った人が行うこと。



プラグを抜く

(プラグを抜く) お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●感電やケガをするおそれがあります。



ぬれ手禁止

(ぬれ手禁止) 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない

●感電やケガをするおそれがあります。

(指示) 根元まで確実に

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

●接触不良による感電・火災の原因になります。

(禁止) 調理中は絶対に、電源プラグを抜き差ししない

●感電や火災の原因になります。

(指示) ホコリを取り除く

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合はよく拭く

●火災の原因になります。

(禁止) 電源コードは、排気口や温度の高い部分に近づけない

●火災・感電の原因になります。

(禁止) 電源コードは束ねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない

●電源コードが破損し感電・ショート・火災の原因になります。

(禁止) 電源プラグを本体で押し付けない

●傷つき、加熱・火災の原因になります。

(指示) 異常時(煙・においなど)は、運転を中止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または、お客さまご相談窓口にご相談ください

●異常のまま運転を続けると、故障・感電・火災の原因になります。

【注意】

(指示) すき間をあけて置く

●過熱し火災の原因になります。また、左右どちらか一方を必ず開放して設置してください。窓ガラスがある場合は、窓ガラスから 20 c m以上離してください。(窓ガラスが割れるおそれがあります。) また、コンセントが排気口の近くにあったり、汚れが気になるときも排気が直接当たらないよう下記寸法以上にすき間を開けて設置してください。

●壁の材質によっては、壁に跡がつく場合があります。

気になる場合は、指定寸法より少し多めにすき間を開けて設置してください。

(禁止) 上にものを置いたり、布などをかぶせたりしない

●天面は上記以上必ず開放してください。変形・発火・火災の原因になります。

(禁止) 不安定な場所に置かない

●落ちたり、倒れたりして、ケガをする原因になります。また、置き台からはみ出して設置しないでください。

### 【注意】

(禁止) 調理以外の目的に使わない

●過熱により、発火・発煙・やけどのおそれがあります。

(指示) ドアの開閉時は、指のはさみ込みに注意する

●ケガのおそれがあります。

(禁止) 調理中はそばを離れない

●庫内の調理物が発煙・発火した場合、火災の原因になるおそれがあります。

(禁止) 調理中や調理直後は、ドアを水につけない

●ガラスが割れて、ケガの原因になります。

(禁止) ドアに無理な力や衝撃を加えない

●本体が倒れてケガをしたり、変形し電波漏れの原因になります。

(禁止) ドアに物をはさんだまま使用しない

●電波漏れ、人体に障害をあたえるおそれがあります。

(禁止) 転倒や落下をさせない

●本体の故障や脚の変形の原因になります。

(指示) 容器に移す

缶詰、ビン詰、レトルト袋の食品は容器に移してから加熱する

●発火・破裂し、ケガ・やけどの原因になります。

(禁止) 庫内で発煙・発火した場合はドアを開けない

●ドアを開けると勢いよく燃え、火災の原因になります。

発煙・発火してしまったときは、次の処置をしてください

① ドアを開けずに、タイマーつまみを「0」に戻してください。

② 電源プラグをコンセントから抜いてください。

③ 本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待ってください。

④ 鎮火しない場合は、水または消火器で消化してください。

処置後は…そのまま使用せずに、必ず販売店に点検を依頼してください。

(禁止) 定期的にお手入れをし、食品・油・煮汁などで汚れたままにしたり、加熱したりしない

●さびや発煙・発火の原因になります。付着したときは必ず拭き取ってください。

●清潔な状態に保っておかないと、表面の損傷が機器の寿命に悪影響を及ぼしたり、故障や発煙・発火など危険な状態になることがあります。

●雲母板（P10）は特にご注意ください。

(禁止) 鮮度保持剤（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない

●発火・発煙の原因になります。

### 【注意】

(指示) ふたを外す

容器のふたや栓は外して加熱する

●破裂して、ケガ・やけどの原因になります。

(禁止) 庫内がカラのまま作動させない

●火花が出て、庫内底面が赤熱により異常高温になるため、やけどのおそれがあります。  
(容器だけでの加熱もしないでください。)

●異常高温になると、安全機能が働き、自動的に動作を停止することがあります。

(指示) 皮や殻のある食品は、切れ目や割れ目を入れて加熱する

●破裂して、ケガ・やけどの原因になります。

(指示) 乳児のミルクなどのあたためは、仕上がり温度を確認する

●幼児がやけどをするおそれがあります。よくかき混ぜてから仕上がり温度を確認してください。



高温注意

(高温注意) 容器の取り出しや、ラップを外すときは注意する

●容器が熱くなっていたり、蒸気が一気に出てやけどをするおそれがあります。

(禁止) 金属製のもの、アルミホイルなどは使わない

●火花が発生し、故障の原因になります。

※ただし、アルミホイルの電波を反射する特性を利用して、解凍などに部分的に使うことがあります。

(禁止) 丸皿に衝撃を加えない

●破損したり、落下してケガの原因になります。容器や食器の出し入れのときは、丸皿のふちに当たらないように注意してください。

(指示) プラグを持つ

電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く

- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



プラグを抜く

(プラグを抜く) 長期間ご使用にならない場合は、安全のために電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

## ○お手入れ P.15

### 【警告】



プラグを抜く



ぬれ手禁止

(プラグを抜く・ぬれ手禁止)

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

またぬれた手で抜き差ししない

- 感電やケガをするおそれがあります。



水かけ禁止

(水かけ禁止) 本体や庫内に水をかけない

- 電気絶縁が悪くなり、ショート・感電・火災の原因になります。

### <ご注意>

●揮発性のあるものは使わないでください。ベンジン・シンナー・アルコールなどを使用すると、変形・発煙・発火の原因になります。

●洗剤をお使いになる場合は、台所用中性洗剤（食品、野菜、調理器具用）をうすめて使用してください。

検体名称	F H						
本体貼り付けシール内容							
取扱説明書記載内容（禁止・危険・注意・ピクトグラム）							
○安全上のご注意 P.6～P.10							
<p>■誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。</p> <table border="1"> <tr> <td> <b>危険</b> 「死亡または重傷を負うおそれが高い」内容。</td> <td rowspan="3"> <p>■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。</p> <table border="1"> <tr> <td> してはいけないこと。</td> </tr> <tr> <td> しなければならないこと。</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td> <b>警告</b> 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。</td> </tr> <tr> <td> <b>注意</b> 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。</td> </tr> </table>	<b>危険</b> 「死亡または重傷を負うおそれが高い」内容。	<p>■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。</p> <table border="1"> <tr> <td> してはいけないこと。</td> </tr> <tr> <td> しなければならないこと。</td> </tr> </table>	してはいけないこと。	しなければならないこと。	<b>警告</b> 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。	<b>注意</b> 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。	
<b>危険</b> 「死亡または重傷を負うおそれが高い」内容。	<p>■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。</p> <table border="1"> <tr> <td> してはいけないこと。</td> </tr> <tr> <td> しなければならないこと。</td> </tr> </table>		してはいけないこと。	しなければならないこと。			
してはいけないこと。							
しなければならないこと。							
<b>警告</b> 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。							
<b>注意</b> 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。							
<p><b>【危険】感電や火災などの事故や大けがを防ぐために</b>  <b>高圧部品に触らない</b>  （禁止）吸排気口や穴などに、ピンや針金などの金属物や異物を入れない  （感電・けが・故障の原因）</p> <p> （分解禁止）自分で絶対に分解・修理・改造をしない  （感電・火災・けがの原因）  <b>分解禁止</b> 万一、異物が中に入った場合や修理は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。（63 ページ）</p> <p><b>【警告】感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために</b>  <b>電源プラグやコード、アースについて</b>  （禁止）電源プラグやコードは、乱暴に扱わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ゆるんだコンセントは使わない</li> <li>●傷んだ電源プラグやコードは使わない</li> <li>●傷付けたり、変形させない</li> </ul> <p>（加工する・高温部〔排気口〕に近づける・無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる重い物をのせる・挟み込むなどすると、コードが破損し、火災・感電・ショートの原因）</p> <p> （ぬれ手禁止）ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない  （感電・けがの原因）  <b>ぬれ手禁止</b> （指示）定格 15A 以上・交流 100V の専用コンセントを単独で使う  （他の器具と併用した分岐コンセント〔延長コード〕を使うと異常発熱し、発火・感電の原因）  （指示）電源プラグは、根元まで確実に差し込む（発火の原因）</p>							

(指示) 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る (ほこりがたまると、火災の原因)



(プラグを抜く) お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、冷めてからおこなう (感電・やけど・けがの原因)



アース線接続

(アース線接続) アースを確実に取り付ける  
(故障や漏電のときに、感電のおそれ) 水気や湿気の多い所に設置する場合  
アース端子がない場合は、お買いあげの販売店にご相談いただき、必ずアース工事をしてください。アースについて(9 ページ)

**【警告】 感電や漏電、発火や突沸などによる事故やけがを防ぐために  
(突沸…突然の沸とうにより加熱中や加熱後に食品や液体が飛び散る現象)**

**加熱するときは**

(禁止) 卵 (ゆで卵・うずら卵含む) など、膜や殻付きのものはレンジ加熱しない (破裂・やけどの原因)

●おでんの卵、目玉焼きなどは、爆発し、大変危険です

※卵をレンジ加熱するときは、必ず溶きほぐしてください。

●膜 (いかなど) や殻付き (クリなど) のものは、切れ目や割れ目を入れる  
破裂の衝撃で、食器やフラットテーブルなどが割れることがあります。

(指示) ビン・密封容器の栓やフタをはずす

●加熱のしすぎになり、破裂します (容器が破裂して、やけどやけがの原因)

(指示) ベビーフードやミルク、介護食をあたためるときは、加熱後、かき混ぜてから温度を確認する (やけどのおそれ)

(禁止) 食品・飲み物を加熱しすぎない

突然沸とう・発電・発火・やけどのおそれがあるので、加熱方法をお守りください。加熱をしすぎたときは、そのまま1～2分程度庫内で冷ましてから取り出してください。

<突然沸とうのおそれのある食品>

●飲み物は専用キーを使う (突然沸とうによりやけどのおそれ)

●カレー・シチュー、煮物、汁物などは、分量・容器など本書の記載内容を守る (27 ページ)

●油脂分の多いもの (バター・生クリームなど) は、手動レンジで様子を見ながら加熱する

※低めの広口容器を使う

※加熱前・加熱後にかき混ぜる

<発煙・発火のおそれのある食品>

● 次のような食品は手動調理で様子を見ながら加熱する

- ・少量のもの
- ・水分の少ないもの（パン、さつまいも、油揚げ、天かすなど）
- ・油が付いたもの（バター付きパン、フライものなど）
- ・高温になりやすいもの（あんまんなど）

#### 使用するとき

（禁止）熱に弱いものを近付けない

● たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの敷物の上や、カーテンなどの燃えやすいものの近くに置かない（変形・変色・反りの原因）

- ・スプレー缶を近付けない（引火や破裂の原因）

（禁止）子供だけで使わせない

● 幼児の手の届く所で使わない（感電・やけど・けがの原因）

#### 異常・故障時には

（指示）直ちに使用を中止する

● すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する

（発煙・発火・感電・けがのおそれ）

異常・故障例：

- ・電源プラグやコードが異常に熱くなる
- ・自動的に切れないときがある
- ・コゲ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする
- ・スタート操作をしても加熱しない
- ・ドアに著しいガタがある
- ・触れるとピリピリと電気を感じる
- ・ドアや庫内に著しい変形がある
- ・その他の異常や故障がある

#### 【注意】 発火や発煙によるやけどやけがを防ぐために

設置について

（指示）丈夫で安定した水平な場所に置く

（騒音や振動、ガタ付きや傾きがあると水が漏れて、故障の原因）

● 製品が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用せず、点検を依頼する

（感電・電波漏れの原因）

[別売品] 落下・転倒防止用金具を別売品として扱っています。

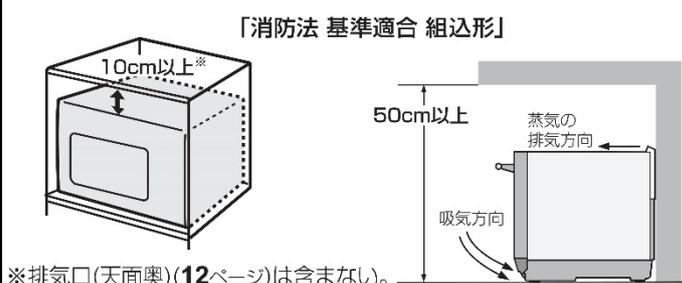
（指示）本体と壁との間は、下表の離隔距離以上の空間を設ける

(過熱による変形・発火や故障の原因)

この製品は、「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しています。

場所	上方	左方	右方	前方	後方	下方
隔離距離 (cm)	10	0	0	開放	0	0

「消防法 基準適合 組込形」



※排気口(天面奥)(12ページ)は含まない。

壁の材質などによって、排気口付近の壁が汚れたり、結露することがあります。壁の汚れや結露が気になる場合は、左記の隔離距離以上離したり、壁面にアルミホイルなどを貼ることをおすすめします。製品に貼らない

- 窓ガラスがある場合は、排気口(12 ページ) と 20cm 以上離す  
(それでも温度差によって割れる場合あり)
- 調理をするときは、必ず換気をする (蒸気による壁などへの露付きの原因)
- 熱に弱い家具やコンセントのある壁面に排気口が向き合うときは、熱で変形するおそれがあるため、遠ざける (火災・感電・ショートの原因)
- 電源プラグやコードを製品で壁などに挟み込まないようにする (火災・感電・ショートの原因)

(禁止) 吸気口・排気口(12 ページ) をふさがない (過熱による発火や故障のおそれ)

蒸気や水のかかる所や火気の近くで使わない (感電・漏電の原因)

製品の上は、高温または蒸気の影響を受けるため、物を置いたり、近付けないとくに電気製品は、故障することがあります。

<アースについて>

- アース端子付きコンセントがある場合 (12 ページ)

アース線の先端をはずし、アース端子に確実に固定します。アース線の長さが足りないときは、市販の導体断面積 1.25 mm<sup>2</sup>以上のものをご使用ください。

- アース端子付きコンセントがない場合

お買い上げの販売店にご相談いただき、アース工事※をおこなってください。

ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

次のような場所で使用する場合は、アース工事※が法律で義務付けられています。

- 水気のある場所：八百屋・魚屋の洗い場など水を扱う所、水滴の飛び散る所、地下室など結露が起きやすい所。漏電しゃ断器の取り付けも義務付けられています。

●湿気の多い場所：飲食店の暖房、土間・コンクリート床、酒・しょうゆなどの醸造・貯蔵所。

※アース工事…電気工事士の有資格者による D 種接地工事。(本体価格に工事費は含まれていません)

### 【注意】

#### 水タンクについて

(指示) 水道水を使う

浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーターなどは、水道水に比べて、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。

(指示) 水タンクの水は一日 1 度は捨てる

水は、水蒸気となって直接食品に触れるので、水道から出した新しい水を使用してください。

(禁止) コンロのそばや高温になる場所に置かない

容器が溶けたり、変形し、フタが閉まらなかつたり、本体にセットできなくなります。

(禁止) 水タンクに損傷があるときは、使わない

故障の原因になります。お買いあげの販売店にご相談ください。

(指示) 水タンクの容器・フタは、こまめに洗い、清潔に保つ

水の交換だけでは、容器に水あか、ぬめりが付着するので、やわらかいスポンジを使い、台所用合成洗剤(中性)で洗ってください。お手入れ後は、十分に水気を取ってください。食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使わない(熱で変形するおそれ)

#### ○各部のなまえ P.12、13

ご注意：●物をのせてふさいだり蒸気や熱に弱いものを近づけたりしない  
(故障の原因)

ご注意：●ヒーター加熱中や加熱終了後、しばらくは、高温になっています。

直接手で触れるとやけどをしたり、熱に弱い容器を置くと溶ける可能性があります。

●急冷したり衝撃を与えると割れることがあります。

●食品カスが付着したままで使用すると、焦げたり火花が飛んだりします。

こまめにお手入れしましょう。

●火を使う加熱の場合、蒸気が水滴となって庫内側面に付着したり、メニューによっては底面にたまります。

庫内が冷めてから乾いたふきんなどで拭き取ってください。水が残っていると、通常の加熱時間よりも長くかかることがあります。

<必ず、お守りください>

レンジ加熱のときは、角皿・調理網を絶対に使わないでください。

フラットテーブルの下から出る電波が金属に当たり火花が出て、フラットテーブルが割れるなど、製品を傷めます。また、食品には電波が届かず、あたたまりません。

#### ○表示部・操作部 P.14

ご注意：●箸など、先のとがったもので押さない（破損の原因）

#### ○カラ焼きをする P.25

##### 【注意】



接触禁止

（接触禁止）加熱中や加熱後しばらくは庫内・ドアに触れない

[やけどの原因]

#### ○ごはん・おかずあたたため P.27

##### 【警告】

（禁止）・あんまん・パン・焼きいも、水分の少ないもの、少量のものには使わない

[発煙・発火の原因]

・卵（殻付き卵・ゆで卵・おでんの卵・うずら卵など）を加熱しない

[爆発し、大変危険]

（指示）・液状のもの、とろみのあるもの（カレー・シチュー、煮物、みそ汁など、具のあるもの）は加熱中や加熱後に突然沸とう（突沸）して飛び散ることがあるので、加熱前・加熱後にかき混ぜる

取り出す際はやけどに注意する

#### ○冷凍食品あたたため P.28

##### 【警告】

（禁止）・あんが入ったもの（あんまん、今川焼きなど）、パン、水分の少ないもの、少量のもの（弁当用おかずなど）には使わない [発煙・発火の原因]

・卵（殻付き卵・ゆで卵・おでんの卵、うずら卵など）を加熱しない [爆発し、大変危険]

#### ○牛乳・酒あたたため P.29

##### 【警告】

（禁止）加熱しすぎない

突然の沸とうにより飛び散ります [やけどのおそれ]

#### ○レンジ P.38

**【警告】**

(禁止) 卵 (殻付き卵・ゆで卵・おでんの卵・うずらの卵など) を加熱しない [爆発し、大変危険]

ご注意: ●少量のもの、水分の少ないものなどは、様子を見ながら加熱してください。(発煙・発火のおそれ)

○あぶり焼き P.41

ご注意: ●高さのある食品や、調理中にふくれて庫内天面に触れそうな食品は、調理網を重ねず1枚で使います。もちなど調理中にふくれる食品の場合は、様子を見ながら加熱してください。

●角皿を出し入れするときは、食品が調理網から滑り落ちないようにご注意ください。

○煮こみ P.46

**【注意】**

(指示) 加熱後のフタ (アルミホイルなど) をはずすときは注意する [やけどの原因]

○お手入れ P.48、49

**【警告】**



(プラグを抜く) 必ず電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてからおこなう [感電・やけど・けがの原因]

**【注意】**

(禁止) 庫内やドアに油・食品カス・煮汁が付いたままで放置したり加熱しない [発煙・発火の原因]

ご注意: ●塗装面に衝撃を与えたり、庫内の穴をふさがらないでください。(塗装のはがれ、傷によるサビや割れ、故障の原因)

○除菌 P.51

ご注意: ●除菌運動中にドアを開けたり、食器を追加しない

● [冷却中] の表示のときに取り出さない

やけどのおそれがあります。必ず、終了音が鳴ってから、取り出してください。

検体名称	F J
取扱説明書記載内容（禁止・危険・注意・ピクトグラム）	
○安全上の注意 P.1～P.5	
● 人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。	
■ 記載事項を守らない使用かたで生じる危害や損害の程度を、区分して説明しています。	■ お守りいただく内容を、図記号で区分して説明しています。
 <b>危険</b> 「死亡」や「重傷」を負うおそれが特に高い内容	 してはいけない「禁止」内容
 <b>警告</b> 「死亡」や「重傷」を負う可能性が想定される内容	 「指示を守る」内容
 <b>注意</b> 「軽傷」や「家屋・家財などの損害」が発生する可能性が想定される内容	 「注意をうながす」内容
<b>内部には高圧部があります</b>	
<b>【危険】</b>	
 <b>分解禁止</b>	（分解禁止）自分で分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理は、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。
（禁止）吸気口・排気口・穴などにピンや針金などの金属物または異物、指を入れない 感電・けがの原因になります。もし、異物が中に入ったときは、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご連絡ください。	
<b>電源プラグ・電源コード・コンセントの取り扱い</b>	
<b>【警告】</b>	
（指示）コンセントを単独に使用 電源は、交流 100V で、定格 15A 以上のコンセントを単独で使用する 交流 100V 以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。	
（禁止）電源コードや電源プラグを傷つけない 加工する、排気口などの高温部に近づく、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重いものをのせる、挟み込むなどすると、コードが破損し、火災・感電の原因になります。	
 <b>ぬれ手禁止</b>	（ぬれ手禁止）ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電の原因になります。



コンセント  
から抜く

(コンセントから抜く) 長時間使用しないときは、電源プラグを抜く  
絶縁劣化により漏電火災の原因になります。

(禁止) 傷んだ電源コードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しない  
火災・感電の原因になります。

(指示) 電源プラグは、根元まで確実に差し込む  
感電や発熱による火災の原因になります。

(指示) ほこりを取る  
電源プラグのほこりは、乾いた布で定期的に取り除く  
ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。



プラグを  
持って抜く

(プラグを持って抜く) 電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プ  
ラグを持って引き抜く  
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

## 据え付けるとき

### 【警告】

(指示) 包装材を取り除く  
使用前に包装材はすべて取り除く  
取り除かないと運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。

(指示) 包装用ポリ袋は、幼児の手が届かない所に保管または廃棄する  
頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

(禁止) 水のかかるところや蒸気の出る機器および火気の近くでは使用しない  
火災・感電・漏電の原因になります。(機器例：加湿器、炊飯器、ポットなど)

(禁止) 燃えやすいもの、熱に弱いものを本体に近づけない  
スプレー缶などを近づけない  
焦げや、火災の原因になります。スプレー缶は引火や破裂のおそれがあります。たたみ・  
じゅうたん・テーブルクロスなどの上に置いたり、カーテンなどを近づけないでくださ  
い。また、熱に弱い家電製品や家具・コンセントのある壁面・熱に弱い壁材に排気口を向  
けて設置する場合は、熱変形や変色するおそれがあるため、遠ざけてください。



アースを  
接続する

アースを確実に取り付ける  
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース端子がないとき、アース  
線の長さが足りないときなどは、お買い上げの販売店にご相談ください。(本  
体価格には工事費は含まれていません)

●アース端子を使う場合

・アース線が本体のアースねじにしっかり接続していることを確認してから、アース線先端の皮をむき、芯線部をアース端子につなぐ。電源プラグを抜いた状態で接続してください。

ふたつきの場合は、開けてつなぐ。

●アース端子がない場合

・アース工事（電気工事資格者による D 種接地工事）を行ってください。工事はお買い上げの販売店にご相談ください。

ご注意：ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線には絶対に接続しないでください  
法令で禁止されています。

■次の場合はアース工事（電気工事資格者による D 種接地工事）をするように法律で義務付けられています

・湿気の多い場所

飲食店の厨房、土間、コンクリート床、酒・しょう油などの醸造・貯蔵所など

・水気のある場所（漏電遮断器の取り付けも義務付けられています）

生鮮食品店の作業場など水の飛び散るところ、土間・地下室のように水滴が漏出したり結露するところ

【注意】

（指示）壁との間をあける

壁との間をあけて置く

過熱し火災の原因になります。製品の後方・側面には庫内からの排気口があります。

・熱に弱い壁・家電製品・家具・コンセントがある場合は、下記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。壁の材質によっては、変色したり本体の接触跡がつく場合があります。また、コンセントが排気口の近くにあったり、よごれが気になるときも、排気が直接当たらないよう右記の記載寸法以上にすき間をあけて置いてください。

・後方がガラスの場合、温度差で割れるおそれがあるので、20cm 以上あけてください。

（あけても温度差によって割れることがあります）

・排気による壁のよごれや変色や結露が気になる場合は、壁との距離をあけるか壁面にアルミホイルなどを貼ると壁のよごれや蒸気の影響を軽減できます。（アルミホイルを製品に貼らないでください）

上後左右いずれか一面を必ず開放する

（指示）平らな場所に置く

十分な強度を持った平らな場所に置く

強度が不十分なテーブルや傾いた場所に置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因にな

ります。また、結露水が床にこぼれる場合があります。  
もし地震などで転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくてもそのまま使用せずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。本体の落下・転倒を防ぐための転倒防止金具（別売り：部品コード 32582136）をお求めの方は販売店にご相談ください。

## 使用するとき

### 【警告】

（指示）異常時は使用を中止する

異常・故障時には直ちに使用を中止する

発火や発煙、感電のおそれがあります。

〈異常・故障例〉

- ・電源コードやプラグが異常に熱くなる。
- ・使用中に異常な音やにおいがする。
- ・自動的に電源が切れないことがある。
- ・スパーク（火花）または煙が出ることもある。
- ・とびらに著しいガタつきや変形がある。
- ・触れると電気を感じる。

■すぐに電源プラグを抜いて、販売店に点検・修理を依頼してください。

（禁止）調理中に、電源プラグを抜き差ししない

抜き差しすると火花が発生し、火災、感電の原因になります。

（禁止）調理以外の目的には使用しない

過熱・異常動作して、やけど・けが・破損・火災の原因になります。衣類・布巾類・市販のレンジ加熱用湯たんぽ・哺乳瓶（消毒バッグ）・カイロ・風呂湯保温器などは加熱しないでください。

（禁止）本体の上に、ものを置いたり、布などをかぶせたりしない

置いたものが過熱し、変形・焦げ・発火・火災の原因になります。

（禁止）吸気口や排気口をふさがない

火災の原因になります。

（禁止）とびらや庫内に無理な力や衝撃を加えない

とびらにぶらさがったり、乗ったりしない

変形し、電波漏れによる人体障害のおそれがあります。また、とびらにぶらさがったり、乗ったりすると、本体が転倒・落下し、けがをする原因になります。

（禁止）取り扱いに不慣れな方やお子様だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない

### 【注意】

(禁止) とびらにものをはさんだまま使用しない

電波漏れによる人体障害や発火のおそれがあります。

(禁止) 庫内底面、とびらのガラスに物をぶついたり衝撃を加えない

破損して、けがの原因になります。容器や茶わんの出し入れのときは、庫内底面やとびらのガラスにぶつけないようにしてください。ガラスに傷が付くと、割れることがあります。

(注意) とびらを開閉するときは、指のはさみ込みに注意する  
やけど・けがの原因になります。

(禁止) 庫内で食品が燃えたときは、とびらを開けない

とびらを開けると酸素が入り、勢いよく燃え、火災の原因になります。

・食品が燃えたときは次の手順で処置してください。

①とびらを閉めたまま「とりけし」キーを押し、運転を停止する。

②電源プラグを抜く。

③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。

④鎮火しないときは、水か消火器で消火する。

・そのまま使用せずに、販売店に点検を依頼してください。

(禁止) 家庭用以外(店舗などでの長時間使用や不特定多数の人の使用など)では使用しない

故障や発煙・発火などの不具合の原因となります。

### レンジ加熱のとき

#### 【警告】

(禁止) 食品は加熱しすぎない

食品の分量に対して、加熱時間が長いと発煙・発火・火災・やけどの原因となります。

・手動で加熱する場合は13ページの設定時間の目安を参考に時間を控えめに設定し、様子を見ながら加熱してください。

・特に、少量、油のついた食品(バター付きパン、フライなど)、水分の少ないもの(ポップコーンなど)、根菜類(さつまいも、にんじんなど)、高温になりやすいもの(あんまんなど)は気をつけてください。

・自動であたためる場合は、分量、容器、ラップのかけかたなど取扱説明書の記載内容を守ってください。

(禁止) 100g未満の食品は自動調理で加熱しない

過加熱となり、食品が発火する原因になります。

・手動で様子を見ながら、加熱してください。

(指示) 缶詰・ビン詰・袋詰・レトルト食品・真空パック入り食品は移し替える

鮮度保持剤（脱酸素剤）は取り除く

発火・破裂・製品の破損・けが・やけどの原因になります。

（指示）ベビーフードや介護食をあたためるときは、加熱後かき混ぜてから温度を確認するやけどのおそれがあります。

（指示）ふたを取る殻に切れ目を入れる

密閉性の高い容器のふたやせんをはずし、皮や殻・膜のある食品（いか、栗、ぎんなんなど）は、切れ目や割れ目を入れる

破裂して、衝撃による庫内底面の割れなどで、けが・やけどの原因になります。

（禁止）飲みもの・油脂の多い食品・とろみのある食品などは加熱しすぎない

取り出すとき・取り出したあとに突然沸騰し、やけどの原因になります。また、液体にインスタントコーヒーなどの粉末状のものを入れたときに、突然沸騰する場合があります。

・飲みものは「1.あたため」キーで加熱しない。牛乳・コーヒー・お茶などは、「3.のみもの」キーを使ってあたためる。お酒・みそ汁・スープなどは、13 ページの設定時間の目安を参考に設定時間を控えめに手動で加熱する。

・加熱しすぎたときは、そのまま2分以上おいて庫内で冷ましてから取り出す。

・低めで広口の容器を使う。

・分量・容器・置きかたなどは、取扱説明書に記載の内容を守る。

・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜる。

飲みもの：コーヒー、牛乳、豆乳、水、ヨーグルトなどの液体、みそ汁などの汁物

油脂の多い食品：生クリーム、バターなど

とろみのある食品：カレー、シチュー、粒入りスープなど

（禁止）生卵やゆで卵（殻付き、殻なし）、目玉焼きは加熱しない

卵が破裂して衝撃による庫内底面の割れなどで、けが・やけどの原因になります。また、取り出したあとに、突然破裂することもあります。

・卵はよく割りほぐしてから加熱してください。

・ゆで卵（おでん、八宝菜などの卵）のあたためなおしもしないでください。

（禁止）ラップをかけてあたためるときは密閉しない

すき問をあけないと、内圧が高まり破裂の衝撃による庫内底面の割れなどで、けがややけどの原因になります。

### 【注意】

（禁止）アルミホイル・金属容器・金串・金属のひも・アルミテープ・アルミなど金属で表面加工された容器や袋は使わない

火花が発生し、庫内底面やとびらのガラス割れなどでけがの原因になります。

（禁止）庫内がカラのまま加熱しない

火花が出たり、本体や庫内が異常に加熱され、高温になり、やけどの原因になります。ま

た長時間加熱や、少量の食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になりますので終了直後は庫内に触れないでください。



(高温注意) 食器や食品を取り出すとき、ラップをはずすときなどは注意する高温になっていたり、ラップをはずすときに蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。



(接触禁止) 調理中や調理後は、高温部(庫内・とびら・本体・排気口)には触れない  
高温のため、やけどの原因になります。



(水ぬれ禁止) 調理中や調理後は、とびら・庫内などに水をかけたり、急に冷却しない  
割れてけがをしたり、変形の原因となります。また、発生する蒸気やしぶきでやけどの原因になります。

#### お手入れ

##### 【警告】

(指示) プラグを抜き冷めてから  
本体のお手入れは電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う  
感電・けが・やけどの原因になります。

(禁止) 庫内やとびらに付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しない  
電波がよごれた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火・庫内損傷などのおそれがあります。また、さびの原因になります。

・付着した場合は、本体が冷めてから必ずその都度拭き取ってください。

#### ○ごはんやおかずをあたためる P.8

##### 【警告】

(禁止) 100g未満の食品は自動調理で加熱しない  
過加熱となり、食品が発火する原因になります。

・手動で様子を見ながら、加熱してください。

(禁止) 食品は加熱しすぎない  
飲みものは「1.あたため」「2.冷凍もの」で加熱しない  
発煙・発火・突然煮沸する原因になります。

#### ○飲みものをあたためる P.10

##### 【警告】

(禁止) 飲みもの・油脂の多い食品・とろみのある食品などは加熱しすぎない  
飲みもの（コーヒー、牛乳、豆乳、水）などの液体は、取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。また、容器が熱くなり、割れたり溶ける原因になります。  
・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。

#### ○レンジ加熱の設定時間の目安 P.13

##### 【警告】

(禁止) 食品は加熱しすぎない  
発煙・火災の原因になります。  
・時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。  
・あんまんは先にあんが熱くなり、3分以上・加熱すると発煙・発火のおそれがあります。  
(禁止) 飲みもの・油脂の多い食品・とろみのある食品などは加熱しすぎない  
取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。  
・飲みものはあたためる前後にスプーンなどでよくかき混ぜてください。  
・時間を控えめに設定し、調理中、様子を見ながら加熱してください。

#### ○お手入れのしかた P.14

##### 【警告】

(指示) プラグを抜き冷めてから  
本体のお手入れは電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う  
感電・けが・やけどの原因になります。



(ぬれ手禁止) ぬれた手で電源プラグの抜き差ししない  
感電の原因になります。

(禁止) 庫内やとびらに付着した油や食品カス、水分を残したまま加熱しない  
電波がよごれた部分に集中して、火花の発生・発煙・発火・庫内損傷などのおそれがあります。また、さびの原因になります。  
・付着した場合は、本体が冷めてから必ずその都度拭き取ってください。

##### (禁止) お願い

中性以外の洗剤（アルカリ性、酸性などの台所、住宅用洗剤）、オープนครリーナー、粉末クレンザー、ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤、熱湯、可燃性ガス（LPG など）入りスプレー洗剤やたわし、スポンジたわしの硬い部分、研磨剤入りナイロンたわし、金属たわしなどは使わないでください。  
損傷、変色、変形、発煙、発火、さび、塗装のはがれなどの原因になります。また、よごれが落ちにくくなります。

検体名称	F K
------	-----

取扱説明書記載内容（禁止・危険・注意・ピクトグラム）

○安全上のご注意 P.1～P.5

	<b>危険</b>	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性が高いもの
	<b>警告</b>	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	<b>注意</b>	誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

**図記号の説明**

	<b>禁止</b>	禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。
	<b>指示</b>	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。
	<b>注意</b>	注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

**【危険】**

（禁止）穴やすき間に金属物を入れない。自分で絶対に分解修理・改造をしない  
感電・発火の恐れがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

**【警告】**

（指示）必ず守る  
ドアやドアのシールに損傷がある場合は使用しない  
電波漏れの恐れがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

**■設置する時**

（禁止）不安定な場所、燃えやすいものの近くや、本体周囲に熱がこもる環境で使わない  
（P6「設置」参照）

新聞紙など本体の吸排気口をふさぐようなものの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使わないでください。火災ややけどの原因になります。

（指示）必ず守る  
設置の際は、アース線を確実に取り付ける（P6「設置」参照）  
故障や漏電のときに感電する原因になります。

※アース取り付けはP6を参照してください。

（禁止）吸気口や排気口をふさいだり、布やカバーをかけて使用しない  
発火や故障の原因になります。

（禁止）水のかかる所や湿気の多い所、また火気の近くでは使用しない  
感電や漏電の原因になります。

（指示）必ず守る  
使用前に梱包材や保護テープは全て取り除く  
変形・発火・火災の原因になります。また、取り除いた梱包材は、乳幼児の手の届くところ

ろに置かないでください。ポリ袋や箱に入り、窒息する原因になります。

### 【警告】

#### ■電源プラグ・電源コードなどは

(禁止) 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない  
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

(禁止) 電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。

(禁止) 使用中に電源プラグを抜き差ししない  
火災や感電、故障の原因になります。

(指示) 必ず守る

ホコリをとる

電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにホコリが付いているときは乾いた布でふき取る

火災の原因になります。

(指示) 必ず守る

交流 100V 15A 以上

電源は交流 100V で定格 15A 以上のコンセントを単独で使う

交流 100V 以外で使ったり、コンセントを他器具と併用する火災・感電の原因になります。

(指示) 必ず守る

根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



濡れ手禁止

(濡れ手禁止) 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電やけがの原因になります。



プラグを  
持って抜く

(プラグを持って抜く)電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず  
先端の電源プラグを持って引き抜く  
感電やショートして発火する原因になります。



プラグを抜く

(プラグを抜く)お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて本体が冷めてから行う

感電やけが、やけどの原因になります。



プラグを抜く

(プラグを抜く)異常時には直ちに使用を中止する

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

#### 【異常・故障例】

- ・電源コードやプラグが異常に熱くなる。 ・使用中に異常な音やにおいがする。
- ・自動的に電源が切れないことがある。 ・スパーク（火花）または煙が出ることもある。
- ・ドアに著しいガタつきや変形がある。 ・触れると電気を感じる。



プラグを抜く

(プラグを抜く)長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

ホコリがたまり発煙、発火の原因になります。

(禁止) 食品や飲料を加熱しすぎない

食品が発煙・発火したり、飲料は突然沸騰して、やけどの原因になります。少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、イモなどの根菜類の加熱には注意してください。

(禁止) おしぼりやタオルの温めや衣類の乾燥など調理目的以外の使用はしない

過熱や異常動作による発火、やけどの原因になります。

(禁止) 子供だけで使ったり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。

(指示) 必ず守る

庫内に付着した油や食品カス等は、こまめに掃除する

火花が飛び、発火や発煙の原因になります。食品カス等がたまると発火の原因になります。

(禁止) 100g 未満の食品は自動調理で加熱しない

過加熱となり食品が発火する原因になります。

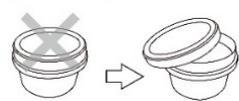
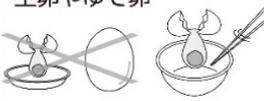
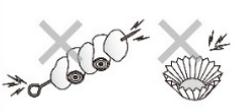
(禁止) ふたのある容器は赤外線センサー調理で使用しない

食品の温度が正しく検知できずに過加熱になるので必ずふたを外します。

#### ■加熱時の破裂を防ぐために

(指示) 必ず守る

次のものはレンジ加熱のときに注意する

<p><b>膜や殻のあるもの</b></p>  <p>破裂してけが、やけどの原因になります。切れ目や割れ目を入れてください。</p>	<p><b>蓋のある容器</b></p>  <p>破裂してけが、やけどの原因になります。蓋を外してください。</p>	<p><b>生卵やゆで卵</b></p>  <p>破裂してけが、やけどの原因になります。ほぐしてから加熱してください。</p>
<p><b>瓶や缶詰</b></p>  <p>容器が割れてけが、やけどの原因になります。耐熱容器に入れ替えてください。</p>	<p><b>アルミ箔、金属製食器、金箔等の装飾食器</b></p>  <p>火花が出て発煙、発火の原因になります。</p>	<p><b>袋入りの食品</b></p>  <p>破裂してけが、やけどの原因になります。袋から取り出して加熱してください。また、<b>脱酸素剤</b>などは、必ず取り出してください。発煙・発火する恐れがあります。</p>

### 【注意】

(指示) 必ず守る

レンジ加熱したラップを外すときは、ゆっくり外す

蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。

(禁止) 本体が転倒、落下したときは外部に損傷がなくても使用しない  
感電や電磁波漏れの恐れがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

(水ぬれ禁止)



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

水ぬれ禁止ショート・感電の原因になります。

(禁止) ドアにぶらさがったりして無理な力をかけたり、物をはさんだまま使用しない  
電磁波漏れによる障害が起きることがあります。

(禁止) 加熱台に衝撃を加えたり、熱い状態で水をかけたりしない  
破損の原因になります。

(禁止) 本体の上に物を置かない  
熱で焦げたり変形する恐れがあります。

(禁止) 可燃性スプレーを使ったり、燃えやすいものを近くに置かない  
引火してやけどや火災の原因になります。

### ■オープン・グリル加熱のとき

(指示) 必ず守る

■食品の出し入れは、ミトンを使う

やけどの原因になります。また、破れたり濡れたミトンは使わないでください。

■煙やにおいに敏感なペットなどは、別の部屋に移し、換気扇を使用する

(禁止) ■加熱中や加熱後しばらくは高温のため庫内や本体には触れない

(ドアのハンドルや操作部は除く) やけどの原因になります。

■調理後の角皿は、本体の上や熱に弱いものの上に置かない

こげたり、変形する原因になります。

(禁止) 庫内が、から(食品なし)のまま作動させない

異常高温になり、やけどや発火、故障の原因になります。(オープン機能でのから焼きを除く)

(禁止) 食品が燃え出したときは、ドアを開けない

酸素が入り、勢いよく燃えます。

[次の処置をしてください]

1. ドアをしめたまま、「取消」ボタンを押す。

2. 電源プラグを抜く。

3. 燃えやすいものを本体から遠ざけ、鎮火するのを待つ。

■鎮火しない場合は、水や消火器で消火してください。

■そのまま使用せずに、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

## ○各部の名称 P.8

(注意) ご使用時には角皿や庫内の汚れをよくふき取ってください。

発煙、発火の恐れがあります。

## ○レンジ加熱の目安 P.32

**【注意：加熱しすぎると発煙・発火します】**

●あんまん・まんじゅう→「あん」は高温になると発煙します。

●根菜類(ごぼう、れんこんなど)→水分が少なくなり発煙・発火することがあります。

●飲み物→取り出すときに突然沸騰(突沸)してやけどをする恐れがあります。

●いかなどはじけやすいもの→はじけてやけどすることがあります。

●乾燥したものや水分の少ないもの→発煙・発火することがあります。

## ○お手入れ P.37

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

(注意) お手入れにはシンナー・クレンザー・金属たわしなどは使わないでください。

変色・変質・劣化などの原因になります。